

予算科目	04衛生費	02清掃費	03し尿処理費	05久美浜衛生センター管理運営事業		
細事業名	01 久美浜衛生センター管理運営事業				決算書	P.104
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進				
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額		
71,647千円	72,443千円	796千円	98.9%	69,889千円		
目的	衛生センター施設を管理運営することで、久美浜町域のし尿及び浄化槽汚泥（網野町域浄化槽汚泥の一部を含む）を適正に処理する。					
主要な事務・事業の概要	○施設管理 68,547千円					
	・施設運転管理経費（薬品、電気代、修繕料等） 6,964千円					
	・施設運転管理委託料（施設管理、受付事務） 9,940千円					
	・貯留槽清掃委託料 1,706千円					
	・下水道使用料 49,037千円					
	（前処理後、久美浜浄化センターで処理）					
	・その他施設管理経費 900千円					
	（消防設備等保守点検委託料、自家用工作物保安管理業務委託料等）					
	○工事 3,100千円					
	・施設設備改修工事費（希釈水ポンプ整備） 2,441千円					
・深井戸用水中ポンプ交換工事 659千円						
（水中ポンプ：口径40mm、1.5KW、200V）						
[し尿及び浄化槽汚泥受入実績]						
区分		し尿		浄化槽汚泥		
		受入件数	受入量	受入件数	受入量	
久美浜町		4,265件	3,226kl	705件	2,903kl	
網野町		—	—	79件	516kl	
合計		4,265件	3,226kl	784件	3,419kl	
主な財源	手数料	し尿処理手数料			41,727千円	
	手数料	浄化槽汚泥処理手数料			3,213千円	
成果・課題	○し尿及び浄化槽汚泥処理業務を停滞させることなく管理運営することができた。 ○平成元年4月に稼動した施設であることから老朽化が進行しているため、施設の長寿命化計画を見直すとともに、適切な修繕対応により、施設を維持していく必要がある。					
所管課	市民環境部／生活環境課					

予算科目	05労働費	01労働諸費	01労働諸費	01シルバー人材センター運営助成事業	
細事業名	01 シルバー人材センター運営助成事業				決算書 P.104
総合計画	計画項目	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
23,100千円	23,100千円	0千円	100.0 %	23,100千円	
目的	高齢者が長年にわたり培ってきた知識や技能を活かした就業機会の提供とボランティア活動などの社会参加を通じ、健康で生きがいのある生活と福祉の向上を目指す。				
主要な事務・事業の概要	定年退職者等に地域に密着した仕事を提供し、もって高齢者の生きがいの充実や社会参加の促進を図るシルバー人材センターの運営費を支援した。				
	○シルバー人材センター運営費補助金				21,000千円
	【事業概要】 労働者派遣事業、福祉・家事援助サービス事業等				
		平成30年度末	平成29年度末		
	正会員数	892人	833人		
	就業延べ人員	75,129人	79,523人		
	受注件数	5,159件	5,620件		
	契約金額	309,611千円	331,335千円		
	○地域就業機会創出・拡大事業補助金				2,000千円
	生き活き満丹事業：平成28年度～平成30年度				
	延べ就業人員	来客数			
軽食喫茶「がや我家」	668人	2,057人			
アンテナショップ	3,632人	6,648人			
○全国シルバー人材センター協会賛助会員会費				50千円	
○京都府シルバー人材センター連合会賛助会員会費				50千円	
主な財源					
成果・課題	○補助金の交付により、高齢者の就業機会の確保、生きがいづくりや社会参加の機会確保につながった。 ○高齢者の健康維持や福祉の増進だけでなく、生活支援の担い手として活躍していただけるよう、市とシルバー人材センターで引き続き情報共有や連携を進めていく必要がある。				
所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課				

予 算 科 目		05労働費	01労働諸費	01労働諸費	02就労支援事業																												
細 事 業 名		01 人材確保・就職促進対策事業			決算書 P.106																												
総 合 計 画		計画項目	1 地域経済を担う商工業の振興																														
決 算 額 ①		最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額																												
13,078千円		13,109千円	31千円	99.7 %	13,354千円																												
目的 市地域雇用促進協議会が実施する人材確保・就職促進のための事業費の一部を負担し、市内事業所の人材確保を図り、また、求職者等の就労を支援し、就労促進を図る。																																	
主要な事務・事業の概要	1.人材確保対策事業																																
	○京丹後市地域雇用促進協議会負担金 9,929 千円																																
	就職フェア、合同企業説明会、ものづくり産業企画展、HP作成、企業ガイドブック作成、ふるさと魅力発信映像制作、採用力強化セミナー、ふるさとパス、教員向け企業見学等に係る費用を負担した。																																
	○職員旅費（外国人留学生企業交流会：京都市 ほか） 19 千円																																
	○有料道路通行料等（外国人留学生企業交流会：京都市 ほか） 31 千円																																
	2.就職促進対策事業																																
	○職業能力向上支援補助金 298 千円																																
	・交付件数：62件 交付者数：38人																																
	・補助率：求職者、労働者の研修受講料の2分の1以内（上限額：年間2万円/人）																																
	補助金交付実績																																
<table><tr><td></td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td></tr><tr><td>交付件数(件)</td><td>63</td><td>118</td><td>64</td><td>49</td><td>67</td><td>62</td></tr><tr><td>交付額(千円)</td><td>434</td><td>653</td><td>532</td><td>299</td><td>384</td><td>298</td></tr><tr><td>交付者数(人)</td><td>50</td><td>70</td><td>49</td><td>31</td><td>40</td><td>38</td></tr></table>							H25	H26	H27	H28	H29	H30	交付件数(件)	63	118	64	49	67	62	交付額(千円)	434	653	532	299	384	298	交付者数(人)	50	70	49	31	40	38
	H25	H26	H27	H28	H29	H30																											
交付件数(件)	63	118	64	49	67	62																											
交付額(千円)	434	653	532	299	384	298																											
交付者数(人)	50	70	49	31	40	38																											
主な財源	○丹後地域職業訓練協会運営費補助金 2,072 千円																																
	・職業訓練講座：9講座22コース実施（H29：10講座25コース）																																
	・受講者：延べ 247人（市内 154人）（H29：延べ 325人（市内 183人））																																
	○職業訓練校事業費補助金（実施主体：京丹後市商工会） 729 千円																																
	・和裁科：網野校 6人（H29：9人）																																
	・染色科（基礎Ⅰ）：峰山校 5人、網野校 4人（H29：峰山校 4人、網野校 5人）																																
	・染色科（基礎Ⅱ）：峰山校 5人、網野校 3人（H29：峰山校 4人、網野校 5人）																																
	・着付科：峰山校6人、網野校 10人（H29：峰山校 8人、網野校 12人）																																
	国補 地方創生推進交付金（1/2） 1,281千円																																
	府補 未来づくり交付金（就職促進対策事業） 1,000千円																																
繰入金 韓哲・まちづくり夢基金繰入金 5,100千円																																	
成果・課題	○京丹後市地域雇用促進協議会の事業に対し負担金を支出し、雇用対策事業、人材育成事業、研修事業など幅広く人材確保に取り組むことで、企業等の人材確保に貢献した。																																
	○各種研修・職業訓練事業に対する支援を行うことで、労働者や求職者のスキルアップを図るとともに、求職者等の就労を促すことができた。																																
	○スキルを習得した人材、U・Iターン希望者と企業とのマッチングを図っていくために、引き続き人材確保や就労促進のための取組みを実施する必要がある。																																
所 管 課		商工観光部／商工振興課																															

予 算 科 目		06農林水産業費		01農業費		01農業委員会費		02農業委員会活動事業		
細 事 業 名		01 農業委員会活動事業						決算書	P.106	
総 合 計 画		計画項目		2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興						
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考)当初予算額		
13,443千円		13,586千円		143千円		98.9 %		14,679千円		
目的	農地法等に基づき許認可の審査・諸証明を行うとともに、農地利用を促進させ農業生産力の増進と農業経営の合理化を図り、農業の健全な発展に寄与する。									
主要な事務・事業の概要	農地法等に基づく許認可の審査を行うとともに、全農地利用状況調査、農地の利用における意向調査を行った。									
	○農業委員数19人 農地利用最適化推進委員36人									
	○主な活動									
	・定例会等									
	※農地法等に基づく許認可申請等の状況									
	活動内容			開催回数		備考		申請等の種類		件数
	定例会			12回		毎月		3条申請		50件
	運営委員会			5回		随時		4条申請（農地法の許可を要しない転用の届出含）		9件
	広報委員会			9回		随時		5条申請		51件
	農地パトロール			1回		11月実施		事業計画変更		4件
全農地利用状況調査			随時		8月重点実施		形状変更届		34件	
研修会			9回		視察研修ほか		非農地証明		50件	
視察受入			2回		愛知県東郷町ほか		非農地判断		7,712筆 151.8ha	
町別地区定例会			53回		毎月		3条の3第1項の規定による届出		314件	
・意見書の提出 農業委員会等に関する法律第38条第1項に基づく、農地等の利用の最適化の推進に関する施策についての意見書（10月10日）										
○経費の内訳 13,443千円										
・農業委員報酬（会長311千円・職務代理267千円・委員243千円） 4,709千円										
・農地利用最適化推進委員報酬（195千円） ※各委員報酬は年額 6,776千円										
・「農業委員会だより」発行経費（年3回、8月・12月・3月全戸配布） 532千円										
・視察研修経費（滋賀県東近江市） 70千円										
・京都府農業会議拠出金 674千円										
・その他農業委員会活動経費（共済費、消耗品費ほか） 682千円										
主な財源	府負 農地利用最適化交付金 3,888千円									
成果・課題	○農地法等に基づいた各種申請について、現地確認や調査を行い適正な許可業務ができた。 ○全農地利用状況調査を行った結果、復元可能な農地について地主意向調査を行い、多少ではあるが地主の農地に関する管理意識が高まったように見られる。 ○農業委員会の業務である「農地利用の最適化」に向け、担い手への農地集積や耕作放棄地の解消等、少しずつではあるが進んでいる。									
所 管 課		農業委員会事務局								

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	01農業委員会費	03農業者年金事務	
細 事 業 名	01 農業者年金事務			決算書 P.106	
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
419千円	420千円	1千円	99.7 %	420千円	
目的	農業者年金加入推進及び農業者年金加入者・受給者の資格管理等の事務を行い、農業者の老後生活の安定と福祉の向上を図る。				
主要な事務・事業の概要	農業者年金加入推進及び加入者・受給者の資格管理等の事務を行った。				
	○農業者年金の裁定請求、加入推進、受給者の資格管理等に関する事務費 419千円				
	・職員旅費 10千円				
	・消耗品費（事務用品） 262千円				
	・燃料費（公用車ガソリン代） 90千円				
	・印刷製本費（農業委員会だより） 33千円				
	・修繕料（公用車の修繕料） 10千円				
	・通信運搬費（郵送料） 14千円				
	○加入者・待機者・受給者の状況（平成31年3月末）				
	①加入者の状況				
通常加入者数	49人				
政策支援加入者数	8人				
合 計	57人				
②待機者の状況	55人				
③受給者の状況					
経営移譲・特例高齢・高齢年金受給者数	357人				
○年金資格及び保険料・給付関係書類の処理状況（平成30年4月～平成31年3月）					
種類	通常加入申込書	7件	種類	死亡届	28件
	政策支援加入申込書	1件		現況届	330件
	経営移譲年金裁定請求書	1件		その他届	0件
	高齢年金裁定請求書	6件			
主な財源	諸収入 農業者年金事務委託金			419千円	
成果・課題	○農業者年金加入者及び受給者の資格管理を行い、農業者年金制度が適正に運用できた。 ○農業者への上乗せ年金制度であり、農業者の老後生活のために引き続き加入を推進していく必要がある。				
所 管 課	農業委員会事務局				

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	01農業委員会費	07機構集積支援事業																	
細 事 業 名	01 機構集積支援事業			決算書 P.106																	
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額																	
4,858千円	4,937千円	79千円	98.3 %	4,937千円																	
目的	農地法に基づく農地制度を円滑に実施するため、遊休農地利活用推進員等を設置し、農地の利用調査、農地の利用調整等を行い、農地の保全を図る。																				
主要な事務・事業の概要	遊休農地利活用推進員・農地相談員を設置し、農地の利用状況調査及び農地利活用調整活動を実施した。																				
	○遊休農地の利用状況調査等に係る経費 4,858千円 ・臨時職員賃金（遊休農地利活用推進員1人、農地相談員1人） 2,965千円 ・臨時職員共済費（社会保険料・雇用保険料） 471千円 ・農業委員旅費 23千円 ・職員旅費 46千円 ・需用費（事務用品、コピー代、燃料費ほか） 664千円 ・役務費（公用車損害共済保険料） 14千円 ・委託料（農地台帳システム保守） 432千円 ・使用料及び賃借料（公用車リース料） 240千円 ・研修参加負担金 3千円 ○遊休農地の利用調整の状況（平成30年4月～平成31年3月） <table><tr><td>種別</td><td>件 数</td><td>該当面積</td></tr><tr><td>調整筆数</td><td>187 筆</td><td>10.90 ha</td></tr><tr><td>地主面談</td><td>2 件</td><td></td></tr><tr><td>農家面談</td><td>8 件</td><td></td></tr><tr><td>交渉中</td><td>25 筆</td><td>2.90 ha</td></tr><tr><td>交渉成立</td><td>16 筆</td><td>2.30 ha</td></tr></table> ※地主及び農家と面談の結果、ともに合意した場合のみ交渉成立となる。				種別	件 数	該当面積	調整筆数	187 筆	10.90 ha	地主面談	2 件		農家面談	8 件		交渉中	25 筆	2.90 ha	交渉成立	16 筆
種別	件 数	該当面積																			
調整筆数	187 筆	10.90 ha																			
地主面談	2 件																				
農家面談	8 件																				
交渉中	25 筆	2.90 ha																			
交渉成立	16 筆	2.30 ha																			
主な財源	府補 機構集積支援事業費補助金（10/10）			3,846千円																	
成果・課題	○農業者の高齢化や農産物価格の長期低迷、獣害の増加等により耕作放棄地が増加する中で、農地法に基づいて、農地の利用状況調査や利用意向調査を実施し、農地の保全を図った。 ○今後も農業従事者の減少・高齢化が進むことが予測される中で、引き続き農地の利用状況調査や利用調整活動に取り組み、遊休農地の解消に努めていく必要がある。																				
所 管 課		農業委員会事務局																			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	01農業委員会費	50農業委員会一般経費		
細 事 業 名	01 農業委員会一般経費				決算書	P.106
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額		
127千円	195千円	68千円	65.1 %	195千円		
目的	農業委員会業務を円滑に遂行する。					
主要な 事業・ 事業の 概要	農業委員会事務局の事務等に要する経費を支出した。 ○経費の内訳 ・需用費（公用車のガソリン代、修理代） 98千円 ・役務費（公用車の保険料） 29千円 					

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	02農業総務費	50農業総務一般経費		
細 事 業 名	01 農業総務一般経費				決算書	P.106
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
3,691千円	3,955千円	264千円	93.3 %	6,725千円		
目的	農業行政を推進するための業務に必要な経常経費及び各種農業関連団体への負担金を支出し、農業振興を図る。					
主要な事業・事業の概要	農業行政を推進するために必要な経常経費及び各種農業関連団体への負担金を支出した。 ○旅費 113千円 ○需用費 657千円 ・事務消耗品、公用車燃料代、公用車修繕料 ○役務費 161千円 ・ETC発行手数料、公用車保険料、公用車登録手数料 ○委託料 2,521千円 ・農業総合地図情報システム保守管理委託料 2,203千円 ・情報通信機器等保守委託料 318千円 ○使用料及び賃借料 60千円 ・有料道路通行料、駐車場使用料 ○負担金、補助及び交付金 138千円 ・全国中山間地域振興対策協議会負担金 10千円 ・京のふるさと産品価格流通安定協会負担金 77千円 ・丹後米改良協会負担金 51千円 ○公課費 ・自動車重量税 41千円					
主な財源	諸収入 市有自動車損害共済金				191千円	
成果・課題	各種団体と連携し、農業行政の推進が図れた。					
所 管 課	農林水産部／農業振興課					

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	01農業振興地域整備計画策定事業
細 事 業 名	01 農業振興地域整備計画策定事業			決算書 P.106
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額
5,946千円	6,076千円	130千円	97.8 %	7,534千円
目的	農業振興地域の整備に関する法律に基づき、本市農業振興地域整備計画について、京都府の基本方針変更等も踏まえ、必要な見直しを行う。			
主要な事業・事業の概要	京丹後農業振興地域整備計画を変更するため、京丹後市農業振興地域整備計画策定協議会を設置し、計画変更の方針や手順、集落意向及び計画案等について協議した。 ○京丹後市農業振興地域整備計画策定協議会委員謝金（6回開催） 264千円 費用弁償 39千円 【協議会の組織】 ・関係団体：5人（市農業委員会正副会長、JA京都、京都府、市農業経営者会議） ・集落代表：12人（各町2人） 【協議会の所掌事項】 ・農振計画の策定案の検討及び立案に関すること ・農振計画の策定に係る集落調整事項に関すること ○京丹後農業振興地域整備計画の変更に係る集落推進委員謝金 【推進委員数】 166人 498千円 「農用地区域」の指定に係る集落内協議の推進及び取りまとめ ・拡大（編入）・除外希望申出書の配布・受領 ・関係書類の整理と市への報告 等 ○京丹後農業振興地域整備計画変更委託料 4,004千円 ・農業振興地域整備計画（案）作成 ・集落協議用図面作成 等 ○その他経費 1,141千円 ・事務補助業務人材派遣委託料（1人） 1,124千円 ・集落推進委員説明会会場使用料 7千円 ・事務消耗品 10千円			
主な財源	府補 未来づくり交付金（農業振興地域整備計画策定事業）			1,742千円
成果・課題	京丹後市農業振興地域整備計画策定協議会を開催し、集落の意向を検討・調整することにより、地域の実情を反映した京丹後農業振興地域整備計画書（案）の作成を進めることができた。			
所 管 課	農林水産部／農業振興課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	03京野菜生産加速化事業	
細 事 業 名	01 パイプハウス等整備事業				決算書 P.108
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
6,416千円	6,416千円	0千円	100.0 %	20,113千円	
目的	パイプハウス等施設の整備を支援し、農産物のブランド化・生産性の向上等、京野菜の産地づくりを図る。				
主要な 事業・ 事業の 概要	丹後地域統一重点推進品目（丹後地域特産物育成協議会が産地力を強化するため、地域で重点的に推進する品目と対象産地を選定しているもの）に位置付けられている「九条ねぎ」の生産振興を図るため、パイプハウスを整備する農業団体に補助金を交付し、産地の強化に取り組んだ。				
	○パイプハウス等整備事業費補助金				6,416千円
	京都ブランド産地形成型（補助率：府50%、市3%）				
	事業実施主体	事業内容	事業費	補助率	補助金額 備考
	京都農業協同組合	パイプハウス6棟 (九条ねぎ)	12,107千円	53%	6,416千円 峰山 大宮 久美浜
主な財源	府補 ほんまもん京ブランド産地支援事業費補助金（50%）				6,053千円
成果・課題	○丹後地域統一重点推進品目（九条ねぎ）の推進と市内農業団体の負担軽減を図り、経営と所得の安定に寄与した。 ○丹後地域統一重点推進品目の推進には、品質だけでなく量の確保・安定供給が必要であり、今後も引き続き京都農業協同組合等の協力を得ながら、市内農業団体への指導及び支援を行う必要がある。				
所 管 課		農林水産部／農業振興課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	03京野菜生産加速化事業		
細 事 業 名	02 生産・流通改善条件整備事業				決算書 P.108	
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
3,892千円	3,892千円	0千円	100.0 %	2,654千円		
目的	農業法人等が生産した農作物の集出荷貯蔵施設・設備整備等を支援することにより、産地の形成と拡大を図る。					
主要な事務・事業の概要	「京のブランド産品」に認証された品目の生産拡大を図るため、農業法人等が行う栽培の効率化に向けた機械導入に対して、補助金を交付した。					
	○生産・流通改善条件整備補助金				3,892千円	
	事業実施主体	導入機械	事業費	府補助	市補助	補助金額
	井辺人参生産組合	人参選別機	1,820千円	45%	3%	873千円
	株式会社みらい久美浜	枝豆選別機、コンベア各種	3,243千円	45%	3%	1,556千円
	田吾作枝豆部会	脱莢機、枝豆選別機、コンベア各種	3,051千円	45%	3%	1,463千円
合 計		8,114千円			3,892千円	
主な財源	府補 ほんまもん京ﾌﾗﾝﾄﾞ 産地支援事業費補助金 (45%)				3,650千円	
成果・課題	丹後地域統一重点推進品目（ニンジン、枝豆）の品質向上・生産安定・出荷安定を図るため、機械・資材・設備の導入を支援し、ブランド力の向上や所得確保の一助となった。					
所 管 課	農林水産部／農業振興課					

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	04生物多様性を育む農業推進事業																								
細 事 業 名	02 環境保全型農業直接支払交付金事業			決算書 P.108																								
総 合 計 画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																										
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																								
8,797千円	8,861千円	64千円	99.2 %	9,845千円																								
目的	地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動等に取り組む農業者を支援し、環境保全型農業の普及推進を図る。																											
主要な事務・事業の概要	化学肥料・化学合成農薬の使用を地域の慣行レベルから5割以上低減する活動と合わせて、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動の取組に対し、取組内容に応じて補助金を交付した。																											
	○環境保全型農業直接支払交付金事業			8,573千円																								
	<table><tr><td>取組内容</td><td>件数</td><td>面 積</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>5割低減＋カバークロープ</td><td>3件</td><td>643a</td><td>514千円</td></tr><tr><td>5割低減＋冬期湛水</td><td>7件</td><td>7,244a</td><td>4,456千円</td></tr><tr><td>5割低減＋緩行性肥料・中干し</td><td>5件</td><td>3,001a</td><td>1,200千円</td></tr><tr><td>有機農業</td><td>8件</td><td>3,004a</td><td>2,403千円</td></tr><tr><td>合 計</td><td>23件</td><td>13,892a</td><td>8,573千円</td></tr></table>				取組内容	件数	面 積	補助金額	5割低減＋カバークロープ	3件	643a	514千円	5割低減＋冬期湛水	7件	7,244a	4,456千円	5割低減＋緩行性肥料・中干し	5件	3,001a	1,200千円	有機農業	8件	3,004a	2,403千円	合 計	23件	13,892a	8,573千円
	取組内容	件数	面 積	補助金額																								
	5割低減＋カバークロープ	3件	643a	514千円																								
5割低減＋冬期湛水	7件	7,244a	4,456千円																									
5割低減＋緩行性肥料・中干し	5件	3,001a	1,200千円																									
有機農業	8件	3,004a	2,403千円																									
合 計	23件	13,892a	8,573千円																									
○環境保全型農業直接支払交付金事業推進事務費				224千円																								
・ 事務補助業務人材派遣委託料（1人、平成31年1月～2月分）				149千円																								
・ その他経費（消耗品費、通信運搬費）				75千円																								
主な財源	府補	環境保全型農業直接支払交付金（3/4以内）		6,429千円																								
	府補	環境保全型農業直接支払交付金（定額）		224千円																								
成果・課題	○化学肥料・農薬を低減し、地球温暖化防止や生物多様性保全につながる農業生産活動を支援することで、農業分野における環境保全と環境意識の向上につながった。 ○平成30年度よりGAPへの取組（研修会への参加等）が交付要件となったため、研修会を開催し、農業者が食品安全、環境保全、労働安全、人権保護、農場経営管理に対する理解を深める機会を設けた。																											
所 管 課	農林水産部／農業振興課																											

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	05利子助成事業		
細 事 業 名	01 利子助成事業				決算書	P.108
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額		
277千円	296千円	19千円	93.5 %	296千円		
目 的	農業制度資金を借り入れた農業者に利子助成し、安定的な農業経営を図る。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	農業経営基盤強化資金を借り入れた認定農業者に対して、利子助成金を交付した。 ○農業経営基盤強化資金利子助成金 277千円 認定農業者：5人（7件）					
主 な 財 源	府補 農業経営基盤強化資金利子助成費補助金（1/2）				138千円	
成 果 ・ 課 題	申請者に対し金利負担を軽減するための利子助成金を交付し、農業経営の安定に資することができた。					
所 管 課	農林水産部／農業振興課					

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	06元気な農村地域づくり事業
細 事 業 名	01 元気な農村地域づくり事業			決算書 P.108
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
163千円	204千円	41千円	79.9 %	204千円
目 的	農業への理解を深め、展示や直販による地産地消の啓発及び地域活性化を図る。また、都市部での京丹後産農産物の販売・宣伝活動等により販路開拓・拡大を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	市内の農業イベントを通して、市内外の消費者に対し京丹後産農作物と農業・農村の活力をPRする取組を支援した。また、都市部の農業イベント等へ参加することで、京丹後産農産物を販売して販路開拓と広報活動を行う農業団体等を支援した。 ○バス借上料 145千円 丹後町袖志地区の棚田保全を目的とした田植えに参加する学生ボランティアの送迎経費 ○旅費、有料道路通行料 18千円 都市部のイベント出展や里の公共員の活動報告会に係る職員参加経費 ・摂津市農業祭（職員：2人） 9千円 日時：平成30年11月10日（土）、11日（日） 場所：摂津市役所駐車場 参加：2団体 ・京都府農林水産フェスティバル（職員：4人） 7千円 日時：平成30年11月24日（土）、25日（日） 場所：京都府総合見本市会館（パルスプラザ）参加：6団体 ・里の公共員の成果報告・交流会への参加経費（職員：1人） 2千円 日時：平成31年3月5日（火） 場所：北部産業創造センター（綾部市）			
主 な 財 源				
成 果 ・ 課 題	○市内のイベントでは、市外から参加者を呼び込み、農村地域の風景や食材などの魅力を発信することができた。また、農業団体等へ市外イベントへの参加を呼びかけることで、京丹後市農産物のPRや販路開拓・拡大を図ることができた。 ○市外の農業イベントについては、市内産の農産物を広くPRするため今後も積極的に参加する必要がある。			
所 管 課	農林水産部／農業振興課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	06元気な農村地域づくり事業
細 事 業 名	03 農村型小規模多機能自治推進事業			決算書 P.108
総 合 計 画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
3,300千円	3,300千円	0千円	100.0 %	0千円
目的	過疎化・高齢化が進む農山漁村集落等が持続可能な地域づくりを進めるため、地域コミュニティの組織化や地域活動を支援する。			
主要な事務・事業の概要	農山漁村コミュニティ組織等が、地域の課題やニーズに応じて活動する事業に対して補助金を交付した。 ○農村型小規模多機能自治推進事業費補助金 3,300千円 ・新農山漁村コミュニティ形成事業 300千円 実施主体：宇川連合区長会 実施場所：丹後町宇川地域 事業費：601千円 補助率：府1/2（最大500千円） 宇川地域の課題の一つでもある移住促進について、先進地視察や空き家活用セミナーなどを行った。また、買い物弱者支援を進めるために、アンケート調査を実施した。さらに宇川地域ビジョンパンフを作成し全戸配布を行った。 ・「なりわい」づくり事業 3,000千円 実施主体：株式会社サナブレンド（京丹後市大宮町地域連携システム構成団体） 実施場所：大宮町大宮南地域 事業費：6,911千円 補助率：府2/3（最大3,000千円） 京丹後市大宮町地域会議設立準備会が定めた地域ビジョンに基づき、株式会社サナブレンドが事業実施したもの。移住促進や集いの場づくりを図るため、古民家（木造2階建、延床面積233.29㎡）を改修してゲストハウス整備を進めており、平成30年度は、管理人の居住スペースやインターネット環境、空調設備等の整備を行った。			
主な財源	府補 農村型小規模多機能自治推進事業費補助金			3,300千円
成果・課題	○過疎・高齢化、人口減少などの課題を抱える地域において、地域の連携体が今後の地域の将来像を見据えながら、持続可能な地域づくりに繋がる取組ができた。 ○今回の事業は3か年事業計画となっており、今後も引き続き、当該実施主体の取り組む事業への伴走支援が必要である。			
所 管 課	農林水産部／農業振興課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	09森の全国交流拠点管理運営事業
細 事 業 名	01 森の全国交流拠点管理運営事業			決算書 P.108
総 合 計 画	計画項目	24 国際交流・多文化共生と広域連携の促進		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
1,619千円	1,630千円	11千円	99.3 %	320千円
目的	ツリーハウスの管理運営を行い、蒲井・旭地域を「心と体と環境にやさしい交流の場所」として全国に発信する。			
主要な事務・事業の概要	平成30年7月豪雨により基礎部分が侵食・崩落し往来不能となったツリーハウスに通じる仮設橋及び腐食の激しいツリーハウスら旋階段の撤去等工事を行った。 ○ツリーハウス維持管理経費 27千円 ・火災保険料 2千円 ・土地借上料 6千円 ・ツリーハウス管理委託料（平成30年4月1日～7月14日） 19千円 ○ツリーハウス関連工事費 1,592千円 ・仮設橋撤去工事 230千円 ・ら旋階段撤去工事 606千円 ・デッキ修繕工事 756千円			
主な財源				
成果・課題	平成31年4月1日にツリーハウスを地元の「蒲井・旭電源問題及び活性化対策協議会」へ無償譲渡を行った。今後は、同協議会により風蘭の館と一体的に管理が行われる。			
所 管 課	市長公室／久美浜市民局			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	11農業等再生緊急支援対策事業									
細 事 業 名	01 農業等再生緊急支援対策事業			決算書 P.108									
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興											
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額									
888千円	888千円	0千円	100.0 %	0千円									
目的	平成30年7月豪雨により被害を受けた市内の販売農家等を対象に、農作物の生産回復等に要する費用を支援し、生産性の維持を図る。												
主要な事務・事業の概要	農作物に被害を受けた生産団体が行う生産回復等の活動に対し、補助金を交付した。												
	○農業等再生緊急支援事業 888千円												
	(単位：千円)												
	<table><tr><td>事業実施主体</td><td>事業内容</td><td>補助区分</td><td>事業費</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>京丹後市茶生産組合</td><td>宇治茶生産確保緊急対策事業 (肥料・農薬の購入)</td><td>府単独</td><td>1,785</td><td>888</td></tr></table>				事業実施主体	事業内容	補助区分	事業費	補助金額	京丹後市茶生産組合	宇治茶生産確保緊急対策事業 (肥料・農薬の購入)	府単独	1,785
事業実施主体	事業内容	補助区分	事業費	補助金額									
京丹後市茶生産組合	宇治茶生産確保緊急対策事業 (肥料・農薬の購入)	府単独	1,785	888									
主な財源	府補 農作物生産確保緊急対策事業補助金 (10/10)			888千円									
成果・課題	平成30年7月豪雨により被害を受けた農作物の生産回復等に必要の肥料・農薬等の費用の一部を助成することで、農業者の負担軽減と産地における今後の生産確保に寄与した。												
所 管 課		農林水産部／農業振興課											

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	01農業技術者協議会活動促進事業
細 事 業 名	01 農業技術者協議会活動促進事業			決算書 P.108
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
2,232千円	2,258千円	26千円	98.8 %	2,258千円
目的	農業経営基盤強化促進法に基づき設置された京丹後市農業技術者協議会の活動を支援することにより農業振興を図る。			
主要な事務・事業の概要	農業経営基盤強化促進法に基づく認定農業者の認定に係る審査機関として、個別具体的な経営基盤強化の推進について検討を行った。 また、認定農業者・集落営農等の担い手育成のため、農業経営改善支援センターを中心に経営相談や経営改善計画の作成指導など、経営基盤強化の促進に資する活動を行った。 ○農業技術者協議会活動経費 2,232千円 ・農業経営改善支援センター嘱託員報酬（1人） 1,394千円 ・農業経営改善支援センター嘱託員社会保険料・雇用保険料 217千円 ・農業経営改善支援センター嘱託員費用弁償 51千円 ・農業技術者協議会活動促進事業補助金 570千円 <活動実績> ・認定農業者育成数 : 33人（新規4人、変更1人、更新28人） ・農業法人育成数 : 1法人（新規） ・経営改善相談活動 対象人数 : 延べ173人			
主な財源	府補 認定農業者等確保・育成支援事業費補助金（1/2以内）			285千円
成果・課題	○認定農業者・集落営農等の担い手の育成及び農用地の利用集積の推進により、農業振興に寄与することができた。 ○更なる地域農業の振興を図るため、新規認定農業者や認定農業者・集落営農等の後継者を増加させるとともに、農業法人化を推進する必要がある。			
所 管 課	農林水産部／農業振興課			

予 算 科 目		06農林水産業費		01農業費		04農政推進費		02中山間地域等直接支払制度事業																																	
細 事 業 名		01 中山間地域等直接支払制度事業						決算書	P.108																																
総 合 計 画		計 画 項 目		2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																																					
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)		執 行 率		(参考) 当初予算額																																	
68,336千円		68,425千円		89千円		99.8 %		67,067千円																																	
目 的		中山間地域等において、農業生産活動等の維持を通じて耕作放棄地の発生を防止し、農業・農地の多面的機能を確保する取組を支援する。																																							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要		耕作放棄地の増加等に伴う農業・農地の多面的機能の低下が特に懸念される中山間地域等において、農振農用地区域内の1ha以上の農地を対象とした5か年（平成27年度～令和元年度）の協定を基に、中山間地域等に直接交付金を支払った。																																							
		○中山間地域等直接支払制度推進事業事務経費						247千円																																	
		・推進事務経費						198千円																																	
		・確認事務経費						33千円																																	
		・交付事務経費						16千円																																	
		○中山間地域等直接支払制度事業補助金						68,089千円																																	
		<table><tr><td></td><td>集落協定数</td><td>個別協定数</td><td>交 付 額</td></tr><tr><td>峰山町</td><td>5 (40ha)</td><td>-</td><td>6,068千円</td></tr><tr><td>大宮町</td><td>7 (51ha)</td><td>-</td><td>9,735千円</td></tr><tr><td>網野町</td><td>1 (6ha)</td><td>1 (4ha)</td><td>2,191千円</td></tr><tr><td>丹後町</td><td>8 (65ha)</td><td>-</td><td>9,843千円</td></tr><tr><td>弥栄町</td><td>3 (38ha)</td><td>-</td><td>6,185千円</td></tr><tr><td>久美浜町</td><td>23 (193ha)</td><td>-</td><td>34,067千円</td></tr><tr><td>合 計</td><td>47 (393ha)</td><td>1 (4ha)</td><td>68,089千円</td></tr></table>									集落協定数	個別協定数	交 付 額	峰山町	5 (40ha)	-	6,068千円	大宮町	7 (51ha)	-	9,735千円	網野町	1 (6ha)	1 (4ha)	2,191千円	丹後町	8 (65ha)	-	9,843千円	弥栄町	3 (38ha)	-	6,185千円	久美浜町	23 (193ha)	-	34,067千円	合 計	47 (393ha)	1 (4ha)	68,089千円
	集落協定数	個別協定数	交 付 額																																						
峰山町	5 (40ha)	-	6,068千円																																						
大宮町	7 (51ha)	-	9,735千円																																						
網野町	1 (6ha)	1 (4ha)	2,191千円																																						
丹後町	8 (65ha)	-	9,843千円																																						
弥栄町	3 (38ha)	-	6,185千円																																						
久美浜町	23 (193ha)	-	34,067千円																																						
合 計	47 (393ha)	1 (4ha)	68,089千円																																						
主 な 財 源		府補 中山間地域等直接支払制度事業補助金 (3/4)						51,066千円																																	
		府補 中山間地域等直接支払制度推進事業補助金 (定額)						247千円																																	
成 果 ・ 課 題		○農業生産条件の不利地域である中山間地域等において、協定農用地を設定（393ha：H27～R元）することにより、将来に向けて耕作放棄地の発生防止等に取り組む体制を整えることができた。 ○各集落において農業者の高齢化が進行しているため、若手の担い手農家育成や営農の広域化支援を進めながら、協定農用地の更なる拡充に取り組む必要がある。																																							
所 管 課		農林水産部／農業振興課																																							

予 算 科 目		06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	03農地流動化対策事業																																																
細 事 業 名		01 土地利用調整推進事業			決算書 P.108																																																
総 合 計 画		計画項目 2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																																																			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額																																																
13,632千円		13,635千円		3千円	99.9 % 12,825千円																																																
目 的		一般社団法人京都府農業会議（農地中間管理機構）から農地中間管理事業を受託し、担い手への農地集積や適正な農地の保全を図る。																																																			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要		○農地中間管理事業に関する受託業務 1,919千円 ・臨時職員賃金（1人） 1,585千円 ・臨時職員社会保険料・雇用保険料 271千円 ・職員旅費 9千円 ・印刷製本費 54千円 ○地域集積協力金交付事業交付金 11,713千円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名</th><th>貸付面積</th><th>交付額</th><th>地区名</th><th>貸付面積</th><th>交付額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>奥大野地区</td><td>39.3ha</td><td>1,663千円</td><td>女布地区</td><td>10.1ha</td><td>435千円</td></tr> <tr> <td>森本地区</td><td>39.5ha</td><td>639千円</td><td>金谷地区</td><td>18.9ha</td><td>1,166千円</td></tr> <tr> <td>明田地区</td><td>29.1ha</td><td>1,779千円</td><td>品田地区</td><td>22.4ha</td><td>166千円</td></tr> <tr> <td>三宅地区</td><td>4.3ha</td><td>404千円</td><td>芦原地区</td><td>12.0ha</td><td>633千円</td></tr> <tr> <td>和田野地区</td><td>33.9ha</td><td>2,040千円</td><td>島地区</td><td>4.8ha</td><td>206千円</td></tr> <tr> <td>小田地区</td><td>8.1ha</td><td>625千円</td><td>鹿野地区</td><td>13.4ha</td><td>1,042千円</td></tr> <tr> <td>神崎地区</td><td>15.2ha</td><td>915千円</td><td>合計</td><td>251.0ha</td><td>11,713千円</td></tr> </tbody> </table>				地区名	貸付面積	交付額	地区名	貸付面積	交付額	奥大野地区	39.3ha	1,663千円	女布地区	10.1ha	435千円	森本地区	39.5ha	639千円	金谷地区	18.9ha	1,166千円	明田地区	29.1ha	1,779千円	品田地区	22.4ha	166千円	三宅地区	4.3ha	404千円	芦原地区	12.0ha	633千円	和田野地区	33.9ha	2,040千円	島地区	4.8ha	206千円	小田地区	8.1ha	625千円	鹿野地区	13.4ha	1,042千円	神崎地区	15.2ha	915千円	合計	251.0ha	11,713千円
地区名	貸付面積	交付額	地区名	貸付面積	交付額																																																
奥大野地区	39.3ha	1,663千円	女布地区	10.1ha	435千円																																																
森本地区	39.5ha	639千円	金谷地区	18.9ha	1,166千円																																																
明田地区	29.1ha	1,779千円	品田地区	22.4ha	166千円																																																
三宅地区	4.3ha	404千円	芦原地区	12.0ha	633千円																																																
和田野地区	33.9ha	2,040千円	島地区	4.8ha	206千円																																																
小田地区	8.1ha	625千円	鹿野地区	13.4ha	1,042千円																																																
神崎地区	15.2ha	915千円	合計	251.0ha	11,713千円																																																
主 な 財 源		府補 機構集積協力金交付事業費補助金 (10/10) 11,713千円 諸収入 農地中間管理機構事業等業務委託金 1,918千円																																																			
成 果 ・ 課 題		○地域との土地利用調整を適正に行い、農地中間管理機構に農地を貸し出し、地域集積協力金を活用したことで担い手への農地集積が図られた。 ○農地集積を円滑に図るため、地域で作成する「京力農場プラン」と連携した土地利用調整を効率的に進めていく必要がある。																																																			
所 管 課		農林水産部／農業振興課																																																			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	03農地流動化対策事業
細事業名	02 京力農場ﾌﾟﾗﾝ作成等事業			決算書 P.108
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
70千円	70千円	0千円	100.0 %	470千円
目的	各地域が主体的に地域農業について議論を進めることで、担い手への農地集積を促し、地域農業の競争力・体質強化を図る。			
主要な事務・事業の概要	○京力農場プラン検討会活動経費 70千円 農業経営者会議、農業委員会、京都府、京都農業協同組合などの関係機関で組織する「京力農場プラン検討会」を設置し、集落や地域単位で作成された「京力農場プラン」について、検討及び審査を行った。			
	・京力農場プラン検討委員謝金 56千円 委員数：8人 検討会：3回開催			
	・消耗品費 14千円 【平成30年度 京力農場プラン作成実績】			
	町名	新規地区（国営団地含む）	更新地区（国営団地含む）	
	峰山町	国営橋木団地	国営五箇団地	
	大宮町	明田地区	森本地区、延利地区、奥大野地区	
	網野町	—	網野地区	
	丹後町	三宅地区、成願寺地区	岩木地区	
	弥栄町	和田野地区、小田地区 国営黒部団地	木橋地区、芋野地区 国営木橋団地	
	久美浜町	関地区、国営浦明団地 鹿野地区、国営鹿野団地 国営寺分団地	芦原地区、品田地区、島地区 国営永留7団地、金谷地区 国営永留1・5団地、平田地区 女布地区	
合計	12地区	17地区		
主な財源	府補 京力農場ﾌﾟﾗﾝ作成事業費補助金（1/2、定額）			35千円
成果・課題	○担い手の確保・育成や農地集積計画などを総合的にまとめた「京力農場プラン」を、これまでに70地区で作成したことにより、該当地域における5年後の目指すべき姿、課題を明確にすることができた。 ○引き続き、プランの新規策定と更新に取り組む地区等を支援する必要がある。			
所管課	農林水産部／農業振興課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	04新規就農者育成事業	
細 事 業 名	01 実践農場整備支援事業				決算書 P.108
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額	
240千円	240千円	0千円	100.0 %	720千円	
目的	新規就農希望者の就農予定地域での農業研修や地域定着等を支援することにより、地域農業の担い手の確保を図る。				
主要な事務・事業の概要	新規就農希望者や担い手不足の地域などからの要望に応じて実践農場を設置し、農業研修等に係る対象経費を支援した。 ○新規就農者実践農場整備支援事業補助金 240千円 【和田野実践農場】 ・設置期間：平成30年3月～令和2年2月（予定） ・研修用機械等整備費：20千円 × 12か月 × 1農場				
主な財源	府補 新規就農者実践農場整備支援事業補助金（1/2）				120千円
成果・課題	農業機械のリースを支援することで、新規就農者の経済的負担の軽減を図ることができた。				
所 管 課	農林水産部／農業振興課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	04新規就農者育成事業	
細事業名	02 就農研修資金償還金助成事業				決算書 P.108
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
960千円		960千円	0千円	100.0 %	960千円
目的	新規就農者の借受資金の償還を支援することにより、地域農業の担い手確保及び育成を図る。				
主要な事務・事業の概要	市内において新規就農し、かつ就農時の年齢や就農形態が一定の要件を満たす者に対し、その償還金の一部を助成した。				
	○新規就農研修資金償還金助成金 960千円				
	・償還条件：償還期間は就農後10年（うち据置5年）、5年均等償還				
	・支給要件：償還期間中は就農（雇用による就農は除く）していること				
	・助成対象：2人				
	貸付決定年度	貸付決定金額	償還期間	単年度償還額	助成率 単年度助成額
	H22	3,600千円	H29～R3	720千円	2/3 480千円
	H23	3,600千円	H30～R4	720千円	2/3 480千円
主な財源	府補	就農研修資金償還金助成事業費補助金（1/2以内）			480千円
成果・課題	本市に新規就農した者の借受資金の償還の一部を助成することで、就農初期の経済的負担の軽減を図ることができた。				
所管課	農林水産部／農業振興課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	04新規就農者育成事業	
細事業名	03 農業次世代人材投資事業			決算書	P.108
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
42,528千円	42,539千円	11千円	99.9 %	48,371千円	
目的	経営の不安定な就農初期の所得確保を支援するために、青年就農者に給付金を給付し、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。				
主要な事務・事業の概要	○農業次世代人材投資資金39,857千円 青年就農給付金（経営開始型） ・個人経営体 全期給付（満額） 最大1,500千円／年 × 25人 = 37,500千円 全期給付（変動） 1,410千円／年 × 1人 = 1,410千円 全期給付（変動） 197千円／年 × 1人 = 197千円 半期給付 750千円／年 × 1人 = 750千円 ※独立自営就農で、その就農時の年齢が45歳未満など、一定の要件を満たす青年就農者に対し、年間最大150万円を給付する。就農2年目以降、前年度所得が100万円を超えた交付対象者は、交付額が変動型となる。給付期間は、既に経営を開始している場合を除き、農業経営開始後5年間。 ○推進事務費2,671千円 ・農業次世代人材投資事業推進員報酬（2人、12か月） 2,616千円 ・農業次世代人材投資事業推進員費用弁償 55千円 （活動内容） ・農業次世代人材投資資金交付対象者等の就農状況報告書類の確認、審査 ・現地確認及びサポート面談の調整、実施、記録 ・中間評価会の調整、記録				
主な財源	府補 農業次世代人材投資事業費補助金			42,199千円	
成果・課題	○青年就農者に対して給付金を給付し、経営の不安定な就農初期の所得確保を支援することで、就農意欲の喚起を図ることができた。 ○引き続き関係機関と連携して営農指導・支援を行い、経営の安定化や認定農業者への経営発展を図る必要がある。				
所管課	農林水産部／農業振興課				

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	04新規就農者育成事業		
細 事 業 名	04 丹後農業経営実践型学舎推進事業			決算書 P.108		
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額		
10,113千円	10,323千円	210千円	97.9 %	6,623千円		
目的	京都府と京丹後市が共同で創設した「丹後農業実践型学舎」の経費負担を行い、新たに国営開発農地に入植する安定的な農業生産の担い手育成を図る。					
主要な事務・事業の概要	平成25年7月に創設した「丹後農業実践型学舎」に係る京丹後市所有の施設、車両等の経費並びに学舎用地整備における市負担金を支出した。					
	○研修生滞在施設の管理経費	205千円				
	・光熱水費（共同棟の水道、下水道、電気代）	119千円				
	・火災保険料	31千円				
	・テレビ受信料	55千円				
	○液肥関連車両の管理経費	208千円				
	・液肥運搬車の車検修繕料	101千円				
	・自動車登録手数料（液肥運搬車の車検代行手数料）	19千円				
	・自動車損害保険料（液肥運搬車、液肥散布車）	59千円				
	・公課費（液肥運搬車の自動車重量税）	29千円				
○学舎用地整備事業に係る負担金	9,700千円					
府営基盤整備促進事業・府営農地耕作条件改善事業						
事業費：48,500千円（市負担率20%）						
農地整備：（新規工事）島津4団地、鳥取2・3団地、周枳団地						
（補完工事）口大野団地						
【参考】						
	H25	H26	H27	H28	H29	H30
入学舎生	10人	9人	6人	5人	4人	5人
主な財源	使用料	丹後農業実践型学舎研修生滞在施設使用料			201千円	
	市債	農業経営実践型学舎用地整備負担金事業債（合併特例債）			9,200千円	
成果・課題	丹後農業実践型学舎事業に係る施設及び機械設備の維持管理費用を支出し、事業を円滑に実施することができた。					
所 管 課	農林水産部／農業振興課					

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	04新規就農者育成事業
細 事 業 名	06 新規就農条件整備支援事業			決算書 P.108
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
2,347千円	2,347千円	0千円	100.0 %	3,110千円
目的	新規就農者の就農初期における農業用機械、施設等の整備に係る費用を支援し、地域農業の新たな担い手の育成・確保を図る。			
主要な事務・事業の概要	○新規就農条件整備支援事業補助金 2,347千円			
	・ 事業主体： 認定新規就農者 ※学舎卒業生及びその他の新規就農者のうち、青年等就農計画の認定を受けた者（農業経営基盤強化促進法第14条の4第1項）			
	・ 対象経費： 農業用機械、施設等のリース料			
	・ 補助率： 3／10（上限400千円／年）			
	・ 補助期間： 3年			
	・ 補助要件： 京都府農業会議が実施する若手農業者経営力向上支援事業の採択を受けていること（単位：千円）			
	事業実施主体	事業内容（リース物件）	事業費	補助金額
	認定新規就農者 (9人)	マルチロータリー、フレールモア、堀上機、つる切機、トラクター 各1台	1,088	302
		ネギ皮むき機、掘取機 各1台	195	54
		人参洗浄機、トラクター、マルチロータリー 各1台	668	185
トラクター1台		1,019	283	
ネギ皮むき機2台、中型管理機1台		824	228	
トラクター1台、一輪管理機1台 他		1,136	315	
トラクター1台、ラジコン動墳1台 他		1,059	293	
トラクター1台、畝またぎ運搬車1台 他		1,036	287	
トラクター1台、大根洗浄機1台 他		1,655	400	
合 計		8,680	2,347	
主な財源				
成果・課題	新規就農者の農業機械への投資負担を軽減することができた。			
所 管 課	農林水産部／農業振興課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	06集落営農発展型農場づくり事業
細 事 業 名	02 集落営農法人経営力強化事業			決算書 P.108
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
5,549千円	5,550千円	1千円	99.9 %	0千円
目的	「京力農場プラン」に基づき集落営農組織等が取り組む農地集積・経営基盤強化に係る体制整備を支援し、地域農業の維持・発展を図る。			
主要な事務・事業の概要	「京力農場プラン」に基づいて、集落（地域）の農地を集積し、作業効率の向上に取り組む集落営農組織等に対して補助金を交付した。			
	○集落営農法人経営力強化事業補助金			5,549千円
	補助率：農地集積助成金交付額 9千円／10a			
	(単位：千円)			
	事業実施主体	地区	事業面積(a)	補助金額
	農事組合法人楽農くらがき	大宮町奥大野	1,608	1,447
	京丹後森本アグリ株式会社	大宮町森本	732	659
	株式会社シーズ金太郎	久美浜町金谷	314	282
	誠農海部株式会社	久美浜町品田	2,132	1,919
	農事組合法人あぐり鹿野	久美浜町鹿野	1,380	1,242
合 計		6,166	5,549	
主な財源	府補 集落営農法人経営力強化事業補助金			5,549千円
成果・課題	○担い手が不足する地域をけん引する集落営農組織等への支援により、営農継続につながる体制強化が図られた。 ○事業要望のある組織等に関しては、補助要件である「京力農場プラン」の策定段階から、法人化等に向けた検討を関係機関や該当地域と連携しながら進める必要がある。			
所 管 課	農林水産部／農業振興課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	12地域農業ブランド推進事業
細 事 業 名	01 地域農業ブランド推進事業			決算書 P.108
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
7,300千円	7,345千円	45千円	99.3 %	6,489千円
目的	農業者の所得向上のため、市内農産物の生産強化及び流通販売の取組を支援するとともに、イベントにて農産物をPRし、広く情報を発信する。			
主要な事務・事業の概要	○地域農業振興事業補助金		6,148千円	
	事業名	実施主体数	総事業費	総補助額
	経営規模拡大支援事業	14	15,648千円	3,389千円
	購入機械：コンバイン、粃摺り機、播種機、乾燥機、脱莢機、トラクターほか			
	共同利用機械等導入支援事業	6	11,256千円	1,556千円
	購入機械：粃摺り機、パイプハウス、トラクター、畦塗り機ほか			
	永年性作物等導入支援事業	3	346千円	172千円
	導入作物：オリーブ苗木			
	農産物流通チャージ支援事業	3	693千円	460千円
	事業内容：ネギ、ほうれん草の出荷用袋の作成、いかが紫峰米出荷用袋の作成			
	国内外販路開拓促進事業	2	1,057千円	528千円
	事業内容：国内外の商談会への参加・出展（東京、福岡、沖縄、タイ、香港）			
	GAP認証取得促進事業	1	86千円	43千円
	事業内容：GAP認証維持審査料			
	○京野菜世界ブランド化プロジェクト事業出張旅費（イタリア）		857千円	
平成30年5月12日～18日（市長、職員1人）				
○販売促進活動経費		295千円		
旬の食材（京丹後産米、京たんご茶等）PR経費		会場：東京パソナ本社ほか		
出張旅費、日当等		194千円		
消耗品費、参加負担金等		101千円		
主な財源	府補	未来づくり交付金（地域農業ブランド推進事業）	2,000千円	
	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	2,000千円	
成果・課題	○市内農業者が高性能な機械等の導入や苗木の購入をしたことにより、生産強化・経営規模拡大につながった。			
	○東京でのPR活動や、市内農業者の国内外での商談会出展等により、京丹後産米、京たんご茶をはじめとするブランド農産物を各地に展開することができた。			
所 管 課		農林水産部／農業振興課		

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	05水田農業振興費	01水田農業振興推進事業	
細 事 業 名	01 水田農業振興推進事業				決算書 P.108
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額	
7,072千円	7,085千円	13千円	99.8 %	7,589千円	
目的	経営所得安定対策等を円滑に実施し、農業者の経営の安定を図ることにより、農業の振興を推進する。				
主要な事務・事業の概要	経営所得安定対策等に係る推進活動や要件確認等を実施し、農業者の経営の安定化を支援した。 ○経営所得安定対策等推進事業に係る経費 7,072千円 ・職員時間外勤務等手当 704千円 ・臨時職員賃金等（2人） 3,718千円 ・経営所得安定対策推進謝金（183集落） 1,263千円 ・転作現地確認謝金（67集落） 229千円 ・事務等経費 1,158千円 （旅費、消耗品費、燃料費、印刷製本費、郵送料ほか）				
主な財源	府補	地域水田農業振興対策事業費補助金（10/10）			658千円
	府補	経営所得安定対策推進事業費補助金（10/10）			6,414千円
成果・課題	経営所得安定対策等制度への加入促進や交付金の受領等、各種事務を適切に行うことで、多くの農業者が安心できる農業経営に寄与できた。				
所 管 課	農林水産部／農業振興課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	05水田農業振興費	02京の水田農業総合対策事業			
細事業名	04「京の米」生産イノベーション事業			決算書	P.110		
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額			
13,581千円	13,581千円	0千円	100.0 %	8,779千円			
目的	特別栽培米等の生産に必要な農業用機械等を導入する農業者で組織する団体、農業生産法人等を支援し、環境に配慮した商品価値の高い米づくりを推進する。						
主要な事務・事業の概要	特別栽培米の作付面積の拡大を図るため、生産に必要な農業用機械の導入に対して補助金を交付した。						
	○「京の米」生産イノベーション事業補助金			13,581千円 (単位：千円)			
	事業実施主体	事業内容	事業費	府補助	市補助	補助金額	備考
	田村特裁組合	畔塗機、代掻き機、 水田除草部、畦草刈機	3,832	40%	3%	1,646	久美浜
	女布機械組合	調整機、乾燥機、 フロアーコンベアー	1,926	25%	3%	538	久美浜
	井辺京の米 生産推進組合	田植機、 コンバイン(3条刈り)	8,500	50%	3%	4,505	弥栄
	認定農業者	コンバイン(6条刈り)	12,800	50%	-	6,400	網野
麻奈為 米作りクラブ	代掻き機	1,230	40%	-	492	峰山	
合 計		28,288			13,581		
主な財源	府補	「京の米」生産イノベーション事業補助金(1/4、4/10、1/2)			13,155千円		
成果・課題	特別栽培米用機械の整備により、刈取り作業及び出荷作業の効率化が図られ、早期出荷による有利な販売につなげることができた。						
所 管 課	農林水産部／農業振興課						

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	07畜産業費	50畜産振興一般経費	
細 事 業 名	01 畜産振興一般経費				決算書 P.110
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額	
42千円	46千円	4千円	91.3 %	46千円	
目 的	円滑な畜産行政事務及び畜産振興の推進を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	飼育状況調査の実施と家畜防疫に必要な事務を実施した。				
	○畜産振興の推進に係る経費 ・ 職員旅費、消耗品費			12千円	
	○京都府畜産振興協会会費			30千円	
主 な 財 源	府委 家畜伝染病予防事務委託金				4千円
成 果 ・ 課 題	円滑な畜産行政事務及び畜産振興の推進が図れた。				
所 管 課		農林水産部／農業振興課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	08農業関連施設費	01アグリセンター-管理運営事業																						
細 事 業 名	01 アグリセンター-管理運営事業				決算書 P.110																					
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																								
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額																						
6,996千円	7,112千円	116千円	98.3 %	7,112千円																						
目 的	施設の維持管理及び運営を行い、農業・農村の活性化及び地域住民の福祉・健康増進に寄与する。																									
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	地域農林業の振興、生涯学習活動の推進並びに地域福祉の増進が図れるよう、施設の管理運営を行った。																									
	○需用費 3,610千円 消耗品費、燃料費、光熱水費、 修繕料（玄関ポーチ丸柱基礎補修、玄関前アプローチ段差補修等）																									
	○役務費 80千円 通信運搬費、家電リサイクル料、設備点検手数料、火災保険料																									
	○委託料 2,876千円 施設清掃、休日・夜間管理業務、設備保守管理、移動観覧席点検、 空調設備保守点検、自動ドア保守点検、グリストラップ処理、 害虫駆除、消防設備等保守点検、特殊建築物・設備定期報告業務																									
	○使用料及び賃借料 テレビ受信料 14千円																									
	○工事請負費（調理加工実習室ビルトインコンロ・レンジ入替） 239千円																									
	○備品購入費（消火器格納箱1台、ホールステージ用スクリーン） 177千円																									
	<利用状況>																									
	<table><tr><td>区 分</td><td>利用回数</td><td>利用人数</td></tr><tr><td>農業技術研修室</td><td>290回</td><td>2,806人</td></tr><tr><td>視聴覚教育室</td><td>249回</td><td>5,461人</td></tr><tr><td>地域活性化研修室</td><td>168回</td><td>2,627人</td></tr><tr><td>多目的ホール（エントランス含む）</td><td>184回</td><td>14,186人</td></tr><tr><td>調理加工実習室</td><td>31回</td><td>885人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>922回</td><td>25,965人</td></tr></table>					区 分	利用回数	利用人数	農業技術研修室	290回	2,806人	視聴覚教育室	249回	5,461人	地域活性化研修室	168回	2,627人	多目的ホール（エントランス含む）	184回	14,186人	調理加工実習室	31回	885人	合 計	922回	25,965人
	区 分	利用回数	利用人数																							
農業技術研修室	290回	2,806人																								
視聴覚教育室	249回	5,461人																								
地域活性化研修室	168回	2,627人																								
多目的ホール（エントランス含む）	184回	14,186人																								
調理加工実習室	31回	885人																								
合 計	922回	25,965人																								
主 な 財 源	使用料 アグリセンター大宮使用料				1,002千円																					
成 果 ・ 課 題	○農林業の振興に係る研修会及び講演会をはじめ、生涯学習や福祉など幅広い分野で施設活用ができた。 ○築後20年以上が経過する中で、設備や機材の老朽化が目立つため、計画的な修繕を実施するなど、適切な施設管理を行う必要がある。																									
所 管 課		教育委員会事務局／生涯学習課																								

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	08農業関連施設費	02農業関連施設管理運営事業
細 事 業 名	01 農業関連施設管理運営事業			決算書 P.110
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額
1,980千円	2,036千円	56千円	97.2 %	1,993千円
目的	農業関連施設の適切な維持管理を行うことにより、農業振興を図る。			
主要な事務・事業の概要	○農業関連施設火災保険料（30施設）215千円 ○弥栄都市農村交流実践施設[もんやこ]149千円 ・維持管理経費（消耗品費、光熱水費）39千円 ・水道開閉栓手数料1千円 ・浄化槽清掃等委託料109千円 ○久美浜総合交流販売施設 [くみはまSANKAIKAN]1,511千円 ・公衆電話設置用電源補修40千円 ・便所改修工事256千円 ・電気設備絶縁不良部修繕工事43千円 ・照明設備改修工事793千円 ・駐車場用地借上料（2,724㎡）379千円 ○大宮農産物加工直売施設 [畔蔵]58千円 ・足踏みシーラー機購入 ○近畿「道の駅」連絡会会費47千円			
主な財源	使用料	公有財産使用料	43千円	
	使用料	貸付農家住宅使用料	1,404千円	
	諸収入	市有建物火災保険料負担金	4千円	
成果・課題	○農業関連施設の維持管理を行い、多くの方に使用してもらうことができた。 ○利用者に安全な施設として活用されるよう、修繕及び適切な施設管理を行う必要がある。			
所 管 課	農林水産部／農業振興課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	08農業関連施設費	03クラインガルテン管理運営事業	
細 事 業 名	01 クラインガルテン管理運営事業				決算書 P.110
総 合 計 画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
6,852千円	6,935千円	83千円	98.8 %	6,870千円	
目的	蒲井・旭地域振興計画に基づき整備した施設の維持管理を行い、短期型から滞在型観光への転換を目指し、農村と都市との交流を図り農業振興と地域活性化に資する。				
主要な 事務・事業の 概要	農園付宿泊施設（ラウベ）と周辺施設等の維持管理を行った。 ○需用費 468千円 消耗品費、燃料代（除雪機・草刈機・耕運機）、電気代、修繕料（浄化槽プロア修繕） ○役務費 74千円 郵送料、浄化槽法定検査料、貯水槽等清掃保守点検手数料、ケーブルテレビ一時停止手数料、火災保険料 ○委託料 1,802千円 水質検査、浄化槽維持管理、施設ごみ運搬、施設内清掃・美化、草刈作業、除雪作業等 ○土地借上料（3,475㎡） 147千円 ○工事請負費（屋根塗装工事：5棟分） 4,344千円 ○過年度滞在型市民農園使用料（電気代）返還金 17千円 ＜クラインガルテン交流会の開催＞ ・平成30年7月22日（日） 「蒲井旭地区ふれあい住民まつり」と同時開催				
主な 財源	使用料 市民農園使用料				4,677千円
成果・課題	主に都市部からの使用者が滞りする宿泊施設及び共用部分の維持管理を実施したほか、7月には使用者と地元住民の交流会が実施され、地域間交流を図ることができた。				
所 管 課		農林水産部／農業振興課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	08農業関連施設費	04丹後王国「食のみやこ」支援事業
細 事 業 名	01 丹後王国「食のみやこ」支援事業			決算書 P.110
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
33,177千円	33,185千円	8千円	99.9 %	39,929千円
目的	丹後王国「食のみやこ」の運営及び各種イベントの開催を支援し、利用促進を図る。			
主要な事務・事業の概要	丹後王国「食のみやこ」の運営に対して負担金を支出するとともに、関連施設の維持管理経費を支出した。また、市エリア内の丹後王国タワー等の解体撤去工事実施設計を行った。			
	○丹後王国「食のみやこ」運営費負担金			28,640千円
	内 訳		金 額	
	財団運営人件費等負担分		3,300千円	
	施設維持管理費負担分		960千円	
	丹後王国「食のみやこ」運営費負担分		24,380千円	
	○火災保険料（展望台、昆虫館、売店）			29千円
	○土地借上料（臨時駐車場等：弥栄町鳥取地内）			253千円
	○工事設計委託料（丹後王国タワー等解体撤去工事実施設計業務）			4,255千円
	＜丹後王国「食のみやこ」来園者数＞			
平成26年度		105,107人	(平成26年4～11月)	
平成27年度		525,566人		
平成28年度		474,308人		
平成29年度		398,960人		
平成30年度		368,991人		
※ 平成26年12月から平成27年3月までは改装のため休業				
※ 平成27年4月19日から、丹後王国「食のみやこ」と名称変更し、リニューアルオープン				
主な財源	繰入金 諸収入	ふるさと応援基金繰入金 太陽光発電余剰電力料	10,000千円 60千円	
成果・課題	農商工親連携の重要な拠点施設として、より一層の利用促進が図られるよう支援する必要がある。			
所 管 課		農林水産部／農業振興課		

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	09農業集落排水事業費	01集落排水事業特別会計繰出金																																																												
細 事 業 名	01 集落排水事業特別会計繰出金			決算書 P.110																																																												
総合計画	計画項目	16 されいな水を循環させる上下水道の整備																																																														
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額																																																												
253,000千円	253,000千円	0千円	100.0 %	253,000千円																																																												
目 的	総務省から示される下水道事業に対する繰出基準を参考に集落排水事業特別会計へ繰出金を支出することにより、同会計の経営の健全化を促進し経営基盤の強化を図る。																																																															
主要な事務・事業の概要	一般会計から集落排水事業特別会計に対して繰出金を支出した。 【繰出金の内容】 (単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th><th>農業集排</th><th>漁業集排</th><th>合 計</th><th>備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>起債償還元金</td><td>38,718</td><td>0</td><td>38,718</td><td></td></tr> <tr> <td>起債償還利子</td><td>7,884</td><td>0</td><td>7,884</td><td></td></tr> <tr> <td>分流式下水道等経費</td><td>148,409</td><td>4,072</td><td>152,481</td><td></td></tr> <tr> <td>高資本対策経費</td><td>23,154</td><td>618</td><td>23,772</td><td></td></tr> <tr> <td>児童手当</td><td>380</td><td>0</td><td>380</td><td></td></tr> <tr> <td>地方公営企業法適用経費</td><td>40</td><td>0</td><td>40</td><td></td></tr> <tr> <td>小 計</td><td>218,585</td><td>4,690</td><td>223,275</td><td></td></tr> <tr> <td>起債償還元金</td><td>26,605</td><td>3,089</td><td>29,694</td><td></td></tr> <tr> <td>建設改良費</td><td>31</td><td>0</td><td>31</td><td>公共汚水ます設置工事、施設改修工事</td></tr> <tr> <td>小 計</td><td>26,636</td><td>3,089</td><td>29,725</td><td></td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>245,221</td><td>7,779</td><td>253,000</td><td></td></tr> </tbody> </table>				項 目	農業集排	漁業集排	合 計	備 考	起債償還元金	38,718	0	38,718		起債償還利子	7,884	0	7,884		分流式下水道等経費	148,409	4,072	152,481		高資本対策経費	23,154	618	23,772		児童手当	380	0	380		地方公営企業法適用経費	40	0	40		小 計	218,585	4,690	223,275		起債償還元金	26,605	3,089	29,694		建設改良費	31	0	31	公共汚水ます設置工事、施設改修工事	小 計	26,636	3,089	29,725		合 計	245,221	7,779	253,000	
項 目	農業集排	漁業集排	合 計	備 考																																																												
起債償還元金	38,718	0	38,718																																																													
起債償還利子	7,884	0	7,884																																																													
分流式下水道等経費	148,409	4,072	152,481																																																													
高資本対策経費	23,154	618	23,772																																																													
児童手当	380	0	380																																																													
地方公営企業法適用経費	40	0	40																																																													
小 計	218,585	4,690	223,275																																																													
起債償還元金	26,605	3,089	29,694																																																													
建設改良費	31	0	31	公共汚水ます設置工事、施設改修工事																																																												
小 計	26,636	3,089	29,725																																																													
合 計	245,221	7,779	253,000																																																													
主な財源																																																																
成果・課題																																																																
所 管 課	上下水道部／経営企画整備課																																																															

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	01小規模基盤整備事業																				
細 事 業 名	01 小規模土地改良事業			決算書 P.110																				
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																						
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額																				
1,106千円	1,107千円	1千円	99.9 %	1,400千円																				
目 的	農業用水路等の老朽化が進む中、地域の維持管理の効率的な取組を支援し、農地、農業用施設等の改良、維持、保全及び復旧を図る。																							
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	各地区及び農業団体が実施した小規模な農業用施設の維持管理に対して、機械借上料、原材料費を対象に補助金を交付した。 ・ 小規模土地改良事業補助金 1,106千円 補助率：補助対象事業費の2/3 上限額：補助対象事業費が原材料費又は機械経費 200千円 補助対象事業費が原材料費と機械経費 300千円 <table><tr><td>地 域</td><td>箇所数</td><td>事業費（千円）</td><td>補助金（千円）</td></tr><tr><td>峰山町</td><td>3</td><td>1,050</td><td>664</td></tr><tr><td>網野町</td><td>1</td><td>213</td><td>142</td></tr><tr><td>久美浜町</td><td>1</td><td>505</td><td>300</td></tr><tr><td>合 計</td><td>5</td><td>1,768</td><td>1,106</td></tr></table>				地 域	箇所数	事業費（千円）	補助金（千円）	峰山町	3	1,050	664	網野町	1	213	142	久美浜町	1	505	300	合 計	5	1,768	1,106
地 域	箇所数	事業費（千円）	補助金（千円）																					
峰山町	3	1,050	664																					
網野町	1	213	142																					
久美浜町	1	505	300																					
合 計	5	1,768	1,106																					
主 な 財 源																								
成 果 ・ 課 題	補助金交付により、農業用施設等の改良、維持、保全及び復旧を支援することができた。																							
所 管 課	農林水産部／農林整備課																							

予 算 科 目	06農林水産業費		01農業費	10農地費	01小規模基盤整備事業
細 事 業 名	02 小規模農業基盤整備事業				決算書 P.110
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
11,351千円	11,351千円	0千円	100.0 %	45,461千円	
目 的	老朽化により機能が低下した土地改良施設の改修及び破損した施設の修繕を行うことにより、農業生産性の向上と農業経営の安定を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	安定した農業用水の供給を図るため、取水施設の堆積した土砂の撤去を行った。また、国・府道路改良工事に伴い支障となる農業用水管の移設工事を行った。 ○工事請負費 11,351千円 ・ 尾和用水取水施設維持工事 702千円 堆積土砂撤去・埋戻 V=100㎡ ・ 竹野・沖田農業用水管移設工事 10,649千円 管体工 (φ450~150) L=447.8m				
主 な 財 源	諸収入	国・府道路改良工事に係る府移転補償金			8,157千円
成 果 ・ 課 題	○機能が低下した土地改良施設の改修及び支障物件となる農業用水管移設により、農業経営の安定と施設の保全に資することができた。 ○土地改良施設の老朽化に伴う改修要望が増えていることから、国府の補助事業を積極的に活用し、計画的な施設改修が必要である。				
所 管 課	農林水産部／農林整備課				

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	03多面的機能支払交付金事業															
細 事 業 名	01 多面的機能支払交付金事業					決算書 P.112													
総 合 計 画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																	
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額															
232,871千円	232,956千円	85千円	99.9 %	251,499千円															
目的	農地、水路等の資源を含む農村環境の保全活動、施設の長寿命化のための活動を行う農業者団体等を支援し、地域主体の保安全管理等の取組の強化・拡大を図る。																		
主要な 事務・事業の 概要	○多面的機能支払交付金事業活動推進費			3,397千円															
	事業の推進及び実施状況確認事務に要する経費を支出																		
	・職員手当等（時間外勤務手当、休日勤務手当）			484千円															
	・共済費（臨時職員社会保険料）			102千円															
	・賃金（臨時職員2人、10か月分）			1,198千円															
	・旅費（普通旅費）			62千円															
	・需用費（消耗品費・リース車燃料代・公用車修繕料）			947千円															
	・役務費（リース車保険料）			128千円															
	・使用料及び賃借料（自動車借上料、施設使用料）			476千円															
	○負担金、補助及び交付金（多面的機能支払交付金）			229,365千円															
	農地維持活動と資源向上活動を行う組織に対し、交付金を交付																		
	① 農地維持支払及び資源向上支払（共同）107組織			130,724千円															
② 資源向上支払（長寿命化）104組織			98,641千円																
農地維持支払…農業を支える共用設備の基礎的な保全活動を支援																			
資源向上支払（共同）…共用設備の軽微な補修等の共同作業や環境活動を支援																			
資源向上支払（長寿命化）…共用設備の補修・更新等の長寿命化の作業を支援																			
（参考）平成30年度の取組状況																			
<table><tr><td>峰山町</td><td>大宮町</td><td>網野町</td><td>丹後町</td><td>弥栄町</td><td>久美浜町</td><td>計</td></tr><tr><td>14組織</td><td>13組織</td><td>12組織</td><td>11組織</td><td>14組織</td><td>45組織</td><td>109組織</td></tr></table>						峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	計	14組織	13組織	12組織	11組織	14組織	45組織	109組織
峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	計													
14組織	13組織	12組織	11組織	14組織	45組織	109組織													
※ ①と②の両方の交付を受けているもの 99組織																			
①又は②のどちらかの交付を受けているもの 10組織																			
○償還金利子及び割引料（過年度府支出金返還金）			109千円																
協定面積の変更に伴う交付金を京都府へ返還したもの																			
主な 財源	府補	多面的機能支払交付金（3/4）			174,936千円														
	諸収入	市有自動車損害共済金			75千円														
	諸収入	過年度多面的機能支払交付金返還金			109千円														
成果・課題	○活動組織の取組により農業用施設の維持、整備や環境保全の強化等の活動が展開された。																		
	○高齢化や人材不足により補助申請書類等の作成が困難な場合があり、農業者団体向けの申請等の事務研修の開催や個別相談の実施が必要である。また、平成30年度で活動計画期間が終了したことから、地域主体の取組を継続してもらうため、再認定の手続き等を促していく必要がある。																		
所 管 課		農林水産部／農林整備課																	

予 算 科 目		06農林水産業費	01農業費	10農地費	50農地一般経費																																						
細 事 業 名		01 農地一般経費			決算書 P.112																																						
総 合 計 画		計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																																								
決 算 額 ①		最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額																																						
5,716千円		5,848千円	132千円	97.7 %	6,656千円																																						
目的 農業農村整備事業を円滑に推進するための施設管理・研修・支援及び京都府土地改良事業団体連合会への負担金等の一般経費。																																											
主要な事務・事業の概要 農業農村整備事業を円滑に進めるため、必要な事務を実施するとともに、関係団体へ負担金及び補助金を交付した。 <table><tr><td>・ 共済費（臨時職員雇用保険）</td><td>7千円</td></tr><tr><td>・ 賃金（臨時職員1人、11か月分）</td><td>967千円</td></tr><tr><td>・ 旅費（会議・職員研修等）</td><td>131千円</td></tr><tr><td>・ 需用費（参考図書・コピー代・燃料費等）</td><td>603千円</td></tr><tr><td>・ 役務費（自動車損害保険料）</td><td>97千円</td></tr><tr><td>・ 使用料及び賃借料（図面コピー機借上料等）</td><td>887千円</td></tr><tr><td>・ 尾和用水路設備管理費負担金</td><td>948千円</td></tr><tr><td>・ 各種大会等参加負担金（全国土地改良大会）</td><td>30千円</td></tr><tr><td>・ 農道台帳管理負担金</td><td>64千円</td></tr><tr><td>・ 京都府土地改良事業団体連合会賦課金</td><td>1,177千円</td></tr><tr><td>・ 丹後土地改良区賦課金</td><td>83千円</td></tr><tr><td>・ 村前川防潮樋門電気代負担金</td><td>46千円</td></tr><tr><td>・ 川崎川防潮樋門電気代負担金</td><td>76千円</td></tr><tr><td>・ 久住営農飲雑用水施設整備事業借入償還補助金</td><td>592千円</td></tr><tr><td>平成9年度借入分 4,213千円 償還額</td><td>334千円</td></tr><tr><td colspan="2">(令和4年度完了予定)</td></tr><tr><td>平成10年度借入分 3,248千円 償還額</td><td>258千円</td></tr><tr><td colspan="2">(令和5年度完了予定)</td></tr><tr><td>・ 公課費（自動車重量税）</td><td>8千円</td></tr></table>						・ 共済費（臨時職員雇用保険）	7千円	・ 賃金（臨時職員1人、11か月分）	967千円	・ 旅費（会議・職員研修等）	131千円	・ 需用費（参考図書・コピー代・燃料費等）	603千円	・ 役務費（自動車損害保険料）	97千円	・ 使用料及び賃借料（図面コピー機借上料等）	887千円	・ 尾和用水路設備管理費負担金	948千円	・ 各種大会等参加負担金（全国土地改良大会）	30千円	・ 農道台帳管理負担金	64千円	・ 京都府土地改良事業団体連合会賦課金	1,177千円	・ 丹後土地改良区賦課金	83千円	・ 村前川防潮樋門電気代負担金	46千円	・ 川崎川防潮樋門電気代負担金	76千円	・ 久住営農飲雑用水施設整備事業借入償還補助金	592千円	平成9年度借入分 4,213千円 償還額	334千円	(令和4年度完了予定)		平成10年度借入分 3,248千円 償還額	258千円	(令和5年度完了予定)		・ 公課費（自動車重量税）	8千円
・ 共済費（臨時職員雇用保険）	7千円																																										
・ 賃金（臨時職員1人、11か月分）	967千円																																										
・ 旅費（会議・職員研修等）	131千円																																										
・ 需用費（参考図書・コピー代・燃料費等）	603千円																																										
・ 役務費（自動車損害保険料）	97千円																																										
・ 使用料及び賃借料（図面コピー機借上料等）	887千円																																										
・ 尾和用水路設備管理費負担金	948千円																																										
・ 各種大会等参加負担金（全国土地改良大会）	30千円																																										
・ 農道台帳管理負担金	64千円																																										
・ 京都府土地改良事業団体連合会賦課金	1,177千円																																										
・ 丹後土地改良区賦課金	83千円																																										
・ 村前川防潮樋門電気代負担金	46千円																																										
・ 川崎川防潮樋門電気代負担金	76千円																																										
・ 久住営農飲雑用水施設整備事業借入償還補助金	592千円																																										
平成9年度借入分 4,213千円 償還額	334千円																																										
(令和4年度完了予定)																																											
平成10年度借入分 3,248千円 償還額	258千円																																										
(令和5年度完了予定)																																											
・ 公課費（自動車重量税）	8千円																																										
主な財源																																											
成果・課題 ○施設管理・支援事業を行うことで、農業農村整備事業を円滑に推進することができた。 ○地元区や農家の借入金に対して補助金を交付することで、負担軽減を図ることができた。																																											
所 管 課		農林水産部／農林整備課																																									

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	11府営土地改良事業費	03ため池等整備事業	
細 事 業 名	01 ため池等整備事業			決算書	P.112
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
	決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額
	9,000千円	9,000千円	0千円	100.0 %	9,000千円
目 的	洪水時において引上げ作業が不可能な丹後町大山堰を固定堰から自動倒伏の可動堰へ更新することで、治水及び防災上の危険防止を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	府営ため池等整備事業に対して負担金を支出した。 ○ため池等整備事業負担金 9,000千円 事業費 60,000千円 市負担金 60,000千円 × 12% = 7,200千円 地元負担金 60,000千円 × 3% = 1,800千円 [府営事業の主な実施内容] 高水敷保護工及び電気設備工（遠方操作）工事 事業期間：平成24年度～令和元年度 ※ 地元負担金については1,200千円を減免（災害未然防止対策及び災害復旧費用分）				
主 な 財 源	分担金	ため池等整備事業分担金	600千円		
	市債	ため池等整備負担金事業債（合併特例債）	7,900千円		
成 果 ・ 課 題	○工事実施に向けた準備を進め、平成30年度に予定していた工事を完了することができた。 ○全施設の早期完成に向け京都府と一体となり事業を推進する必要がある。				
所 管 課	農林水産部／農林整備課				

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	11府営土地改良事業費	05農業競争力強化基盤整備事業	
細 事 業 名	01 農業競争力強化基盤整備事業			決算書	P.112
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
	決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額
	56,354千円	56,355千円	1千円	99.9 %	27,334千円
目 的	久美浜町女布及び丹後町上宇川地区において、ほ場の大区画化と用水路等の改修を実施し、営農労力の節減と収益性の高い農業経営の実現を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	府営農業競争力基盤整備事業に対し、負担金を支出した。 【女布地区】 ○府営農業競争力強化基盤整備事業負担金 29,454千円 事業費 174,000千円 市負担金 174,000千円 × 10% = 17,400千円 地元負担金 174,000千円 × 7.5% - 996千円（減免） = 12,054千円 ※減免は、文化財調査によるもの [主な実施内容] 埋蔵文化財調査、実施設計、ほ場整備工事及び揚水機場工事 ・ 事業期間 平成26年度～令和元年度 ○府営土地改良事業分担金返還金 2,400千円 （平成28年度府営農業競争力強化基盤整備事業女布地区） 【上宇川地区】 ○府営農業競争力強化基盤整備事業負担金 24,500千円 事業費 140,000千円 市負担金 140,000千円 × 10% = 14,000千円 地元負担金 140,000千円 × 7.5% = 10,500千円 [主な実施内容] 測量、実施設計及びほ場整備工事 ・ 事業期間 平成29年度～令和4年度				
主 な 財 源	分担金	農業競争力強化基盤整備事業分担金	22,554千円		
	諸収入	府営土地改良事業市町村負担金返還金	2,400千円		
	市債	農業競争力強化基盤整備負担金事業債（合併特例債）	29,800千円		
成 果 ・ 課 題	女布地区及び上宇川地区において、平成30年度に予定していた実施設計及びほ場整備工事等を実施することができた。				
所 管 課	農林水産部／農林整備課				

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	12団体営土地改良事業費	02土地改良施設維持管理適正化事業	
細 事 業 名	01 土地改良施設維持管理適正化事業				決算書 P.112
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
2,673千円	2,673千円	0千円	100.0 %	2,673千円	
目的	造成した事業資金を基に計画的に施設を整備し、老朽化した土地改良施設の適正な維持管理と農業経営の安定に資する。				
主要な 事務・ 事業の 概要	土地改良施設の適正な維持管理により、施設の長期有効利用と持続的な農業経営の安定を図るため、施設の診断指導を実施した。 また、土地改良施設維持管理適正化事業加入地区の事業実施に向け、必要な資金を賦課金として京都府土地改良事業団体連合会に拠出した。				
	○土地改良施設診断指導（2か所） 久美浜町品田（揚水機場） 久美浜町丸山（揚水機場）				
	○土地改良施設維持管理適正化事業賦課金（3地区） 2,673千円				
	地区名	施設名	支払年度	工事実施年度	拠出額(千円)
	網野町	俵野畑かん施設	H26～H30	H28	759
網野町	俵野畑かん施設	H28～R 2	H29	1,023	
峰山町	有田池	H29～R3	R2	891	
主な 財源	分担金	土地改良施設維持管理適正化事業分担金			1,296千円
成果・ 課題	○地元調整（残土処分地）の実施により、改修が必要となっている施設の事業加入の準備ができた。 ○適正な維持管理を目的に5年以内に整備補修を行う事業であり、計画的な施設整備のため、今後も適正化事業への加入に向けた取組を検討していく必要がある。				
所 管 課		農林水産部／農林整備課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	12団体営土地改良事業費	06団体営調査設計事業	
細 事 業 名	01 団体営調査設計事業				決算書 P.112
総 合 計 画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
19,343千円	19,363千円	20千円	99.8 %	23,586千円	
目的	ほ場の大区画化と用水路等の改修により営農労力の節減を図り、収益の高い農業経営を目指し、農村地域の再生を図る。				
主要な事務・事業の概要	令和2年度のほ場整備事業（府営農業競争力強化基盤整備事業）の採択に向け、調査設計業務を行った。 ○工事設計委託料 19,343千円 ・平田地区ほ場整備調査設計業務 久美浜町平田・三分地区				
主な財源	府補 団体営調査設計事業補助金（1/2）				9,670千円
成果・課題	○平田地区ほ場整備事業の実施に向けた準備を進めることができた。 ○今後も、事業採択に向け地域と協力しながら進めていく必要がある。				
所 管 課		農林水産部／農林整備課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	12団体営土地改良事業費	09宇川地区農業用施設改修事業
細事業名	01 宇川地区農業用施設改修事業			決算書 P.112
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
38,278千円	77,660千円	39,382千円	49.2 %	79,597千円
目的	施設の老朽化により維持管理が困難な状況であるため、用水路及び取水施設の改修を行うことにより、農地の保全及び農業経営の安定を図る。			
主要な事業・事業の概要	安定した農業用水の供給を図るため、老朽化により通水機能が低下した取水施設及び農業用水路の改修工事を行った。			
	○旅費（出張旅費）27千円			
	○需用費（事務用品・燃料費）40千円			
	○使用料及び賃借料（有料道路通行料）51千円			
	○工事請負費38,160千円			
	・尾和用水路改修工事（取水施設その1）21,130千円			
	取水管（φ500） L=45.5m			
	・尾和用水路改修工事（取水施設その2）4,860千円			
	取水ゲート 1式			
	・尾和用水路改修工事（上野工区その3）12,170千円			
取水管（φ300） L=367.8m				
参考	繰越明許費を除いた最終予算額		38,280千円	
	実質的な予算執行率		99.9%	
	■令和元年度への明許繰越事業（令和元年8月完成）			39,380千円
	尾和用水改修事業			
	・需用費			180千円
	・使用料及び賃借料			20千円
	・工事請負費			39,180千円
主な財源				
成果・課題	○機能が低下した施設の改修により、農業経営の安定と農地の保全に資することができた。 ○施設の全面的改修に向け、継続的に事業を実施する必要がある。			
所管課	農林水産部／農林整備課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	12団体営土地改良事業費	10農村地域防災減災事業	
細 事 業 名	01 農村地域防災減災事業				決算書 P.112
総 合 計 画	計 画 項 目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
5,389千円		5,439千円	50千円	99.0 %	5,150千円
目的	防災・減災対策を実施することにより、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図る。				
主要な事務・事業の概要	大宮町河辺地区において、5つのため池のハザードマップを作成した。 ○ハザードマップ作成業務委託料 5,389千円 ・ため池安心安全マップ作成業務 大宮町河辺地区 内籬池・口堤池・小中田池・新堤池・茂手谷池				
主な財源	府補 団体営農村地域防災減災事業補助金（10/10）				5,388千円
成果・課題	○地域住民のワークショップにより、被害想定区域や避難場所等を検討することで、地域に即したハザードマップを作成することができた。 ○ため池災害に備えて、今後も継続的に事業を実施していく必要がある。				
所 管 課		農林水産部／農林整備課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	12団体営土地改良事業費	10農村地域防災減災事業	
細 事 業 名	01 農村地域防災減災事業（繰越）				決算書 P.112
総 合 計 画	計 画 項 目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額
13,068千円		13,071千円	3千円	99.9 %	13,071千円
目 的	防災・減災対策を実施することにより、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	施設の老朽化により、危険な状態となっているため池について、改修工事を実施するため事業採択に向けて計画策定業務を行った。また、ため池ハザードマップを作成した。 ○需用費（事務用品）21千円 ○工事設計委託料 12,442千円 ・上すべ内池・下すべ内池計画策定業務 峰山町菅地区 ○ハザードマップ作成業務委託料 605千円 ・ため池安心安全マップ作成業務 大宮町河辺地区				
主 な 財 源	府補 団体営農村地域防災減災事業補助金（10/10）				13,060千円
成 果 ・ 課 題	○地域住民のワークショップにより、被害想定区域や避難場所等を検討することで、地域に即したハザードマップを作成することができた。 ○ため池災害に備えて、今後も継続的に事業を実施していく必要がある。				
所 管 課		農林水産部／農林整備課			

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	03林業労働者支援事業																							
細 事 業 名	01 林業労働者支援事業				決算書 P.112																						
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																									
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額																							
1,151千円	1,162千円	11千円	99.0 %	2,191千円																							
目 的	林業労働者の福祉の向上を図るとともに、安全で安心して働き続けられる環境づくりを支援し、林業労働者の確保と地域林業の振興に寄与する。																										
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	森林組合の作業班員の雇用確保及び定着を図るため、林業労働者の共済事業加入経費及び労働者の就労環境整備に繋がる取組に対して補助金を交付した。																										
	○林業労働者新共済事業補助金 755千円																										
	補助事業：長期事業 市1/4 退職金助成・組合助成事業 府1/2、市1/2																										
	補助単価：長期事業205円/日、退職金助成事業45円/日、組合助成事業25円/日																										
	補助対象：（公社）京都府林業労働支援センター（単位：人、日、千円）																										
	<table><tr><td>区 分</td><td>就労実人数</td><td>延日数</td><td>事業費</td><td>補助金</td></tr><tr><td>長期事業</td><td>13</td><td>2,704</td><td>2,217</td><td>554</td></tr><tr><td>退職金助成事業</td><td rowspan="2">1（団体）</td><td rowspan="2">2,873</td><td rowspan="2">1,350</td><td>129</td></tr><tr><td>組合助成事業</td><td>72</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td>3,567</td><td>755</td></tr></table>					区 分	就労実人数	延日数	事業費	補助金	長期事業	13	2,704	2,217	554	退職金助成事業	1（団体）	2,873	1,350	129	組合助成事業	72	計			3,567	755
	区 分	就労実人数	延日数	事業費	補助金																						
	長期事業	13	2,704	2,217	554																						
	退職金助成事業	1（団体）	2,873	1,350	129																						
	組合助成事業				72																						
計			3,567	755																							
○緑の担い手育成事業補助金 396千円																											
補助事業：新規就労者支援事業・就労環境改善支援事業 3/4以上（府1/2、市1/4）																											
※事業費が林業労働者の前年度総賃金の16.5/1000を超えない場合は、																											
事業費と同額を補助																											
（前年度総賃金：38,354千円×16.5/1,000＝633千円）																											
補助対象：丹後地区森林組合（単位：千円）																											
<table><tr><td rowspan="2">区 分</td><td rowspan="2">事業費</td><td colspan="2">補助金</td></tr><tr><td>府</td><td>市</td></tr><tr><td>新規就労者支援事業</td><td>241</td><td>111</td><td>70</td></tr><tr><td>就労環境改善支援事業</td><td>215</td><td>143</td><td>72</td></tr><tr><td>計</td><td>456</td><td>254</td><td>142</td></tr></table>					区 分	事業費	補助金		府	市	新規就労者支援事業	241	111	70	就労環境改善支援事業	215	143	72	計	456	254	142					
区 分	事業費	補助金																									
		府	市																								
新規就労者支援事業	241	111	70																								
就労環境改善支援事業	215	143	72																								
計	456	254	142																								
主 な 財 源	府補	林業労働者新共済事業費補助金（1/2）			100千円																						
	府補	緑の担い手育成事業費補助金（1/2）			254千円																						
成 果 ・ 課 題	○林業労働者の確保及び地域林業の振興に寄与できた。 ○森林の維持管理を担う森林組合の基幹的作業員の福利厚生を充実させることができた。																										
所 管 課	農林水産部／農林整備課																										

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	04有害鳥獣対策事業				
細 事 業 名	01 有害鳥獣捕獲事業				決算書	P.114		
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興						
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額				
70,246千円	70,554千円	308千円	99.5 %	86,430千円				
目的	有害鳥獣を捕獲することで、野生鳥獣による農作物被害、営農意欲の低下、生活環境の悪化及び人身への危害を未然に防止する。							
主要な事務・事業の概要	有害鳥獣を捕獲するため、猟友会に業務を委託するとともに、鳥類捕獲を目的とした鳥獣被害対策実施隊の編成及び猟期中のシカ捕獲強化事業（府）の活用と一体化して捕獲事業を実施し、併せて狩猟免許取得等の支援を行い、捕獲班員の確保を図った。 また、捕獲個体の処理施設建設に向け、地元の方を対象とした先進地視察を実施した。							
	○鳥獣被害対策実施隊員報酬（43人）		552千円					
	○シカ捕獲奨励金（61人）		3,051千円					
	○事務経費等		346千円					
	費用弁償、出張旅費（個体処理施設視察等）		69千円					
	サル餌、公用車燃料代等		260千円					
	自動車保険料		13千円					
	有料道路使用料		4千円					
	○委託料		65,730千円					
	バス運転委託料		19千円					
	有害鳥獣捕獲委託料		65,711千円					
	捕獲実績		イノシシ	シカ	サル	小動物	鳥類	合計
	H30		1,363	3,239	14	200	294	5,110
H29		1,426	3,319	4	234	394	5,377	
主 な 財 源	○京丹後市野生鳥獣被害対策協議会負担金		396千円					
	○捕獲班員支援の補助金		171千円					
	狩猟免許取得奨励（補助交付者：10人）1/2補助		84千円					
	猟銃所持許可更新手数料（補助交付者：9人）1/2補助		67千円					
	埋設処分支援補助（補助交付者：1人）1/2補助		20千円					
主 な 財 源	手数料	有害鳥獣捕獲班員証明手数料、有害鳥獣捕獲等参加証明手数料				13千円		
	府補	鳥獣被害防止緊急捕獲等対策交付金（定額）				22,719千円		
	府補	有害鳥獣捕獲関係事業費補助金（1/2）				16,591千円		
	市債	過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）				500千円		
成果・課題	○イノシシ、シカ等を5,000頭以上捕獲したことや、サルの個体数調整（捕獲）の進展により、農作物の被害額全体では前年対比で約26.6%減少した。							
	○被害額、捕獲頭数ともに減少傾向にあるため、引き続き捕獲班員への支援を継続する。							
所 管 課		農林水産部／農林整備課						

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	04有害鳥獣対策事業		
細 事 業 名	02 有害鳥獣防除事業				決算書	P.114
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額
1,216千円		1,328千円		112千円	91.5 %	1,328千円
目的	サルの群れの行動圏調査や集落ぐるみの追払活動を支援し、サルによる農作物や生活環境被害、人身被害への拡大を防止する。					
主要な事務・事業の概要	調査隊を編成し、市が取り組むサルの個体数調整（群れ単位の捕獲）に必要な群れの行動圏調査を実施するとともに、追払資材を地区へ支給し、集落ぐるみの追払対策を支援した。					
	○追払用資材（花火）					159千円
	○サル行動調査業務委託料					1,057千円
	委託先：公益社団法人 京丹後市シルバー人材センター					
	委託期間：平成30年4月2日～平成31年3月29日					
	業務内容：サルの行動圏調査及び被害状況調査を月8回行う。 実施地域：丹後町内（豊栄、竹野、上宇川、下宇川）					
主な財源	市債 過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）					1,100千円
成果・課題	追払活動を継続支援することにより、サルの出没頻度や集落内における滞在時間の縮小につながったが、エサとなる不要作物の除去等ができていない集落もあるため啓発が必要である。					
所 管 課		農林水産部／農林整備課				

予算科目	06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	04有害鳥獣対策事業
細事業名	04 猪・鹿肉処理施設運営管理事業			決算書 P.114
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
10,918千円	11,024千円	106千円	99.0 %	11,255千円
目的	捕獲したイノシシ、シカを地域資源として活用するとともに、捕獲者の個体処理労力の低減を図る。			
主要な事務・事業の概要	猪、鹿肉処理施設「京たんご ぼたん・もみじ比治の里」の運営委託及び施設の維持管理を行った。			
	○施設運営費	10,918千円		
	・旅費（販売促進）	36千円		
	・消耗品、公用車燃料代	475千円		
	・電気代	1,471千円		
	・車検整備等修繕料	51千円		
	・電話通話料等	115千円		
	・貯水槽保守点検手数料、浄化槽法定検査手数料等	181千円		
	・火災保険料、自動車保険料	48千円		
	・運営管理業務委託料	7,960千円		
主な財源	・浄化槽維持管理委託料、金属検出機保守点検委託料等	457千円		
	・施設用地賃借料	105千円		
	・清掃用具借上料	12千円		
	・自動車重量税	7千円		
	＜イノシシ、シカ処理頭数＞ (単位：頭)			
	区 分	H28	H29	H30
	イノシシ	127	77	175
	シカ	558	804	692
	合 計	685	881	867
	諸収入	猪・鹿肉精肉販売代金	2,898千円	
市債	過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）	6,200千円		
成果・課題	867頭のイノシシ、シカを搬入することで、有害鳥獣捕獲事業の課題となっている個体埋設作業の負担軽減ができた。			
所管課	農林水産部／農林整備課			

予算科目	06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	50林業総務一般経費
細事業名	01 林業総務一般経費			決算書 P.114
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
572千円	625千円	53千円	91.5 %	731千円
目的	林業振興事業を円滑に進めるために必要な経費。			
主要な事務・事業の概要	林業振興推進業務に必要な事務を実施するとともに、各種団体へ負担金等を支出した。 ○旅費（会議・職員研修等） 20千円 ○需用費（参考図書・用紙代等） 207千円 ○使用料及び賃借料（有料道路通行料） 13千円 ○負担金等 京都府林業振興会会費及び負担金 287千円 ○京都府府有林事業支障木売払いに係る分収金支払い 45千円			
主な財源	諸収入 京都府府有林事業収入 45千円			
成果・課題	事務の適切な執行により、林業振興の推進に寄与できた。			
所管課	農林水産部／農林整備課			

予算科目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	01緑の公共事業										
細事業名	02 放置竹林拡大防止事業			決算書 P.114										
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興												
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額										
733千円	734千円	1千円	99.8 %	1,119千円										
目的	人工林等に侵入した竹の伐採等により、森林の有する多面的機能の維持増進を図る。 また、伐採竹を資材として利用することで資源の有効利用を図る。													
主要な事務・事業の概要	放置竹林による森林浸食を防ぐため、森林に侵入した竹林の伐採を行うとともに、伐採竹の有効活用（竹肥、竹炭）を図るため搬出を行った。													
	○放置竹林拡大防止工事			733千円										
	<table><tr><td rowspan="2">実施箇所</td><td colspan="2">事業量</td><td rowspan="2">事業費</td></tr><tr><td>整理伐</td><td>竹材搬出</td></tr><tr><td>大宮町三坂地内</td><td>0.60ha</td><td>456本</td><td>733千円</td></tr></table>				実施箇所	事業量		事業費	整理伐	竹材搬出	大宮町三坂地内	0.60ha	456本	733千円
	実施箇所	事業量		事業費										
		整理伐	竹材搬出											
大宮町三坂地内	0.60ha	456本	733千円											
委託先：エコネット丹後														
主な財源	府補 緑の公共事業費補助金（1/2）			346千円										
成果・課題	○竹による森林浸食を防止するとともに、伐採竹を資源として有効活用（竹炭）に寄与することができた。 ○伐採跡地の適正かつ継続的な管理が課題である。													
所管課		農林水産部／農林整備課												

予 算 科 目	06農林水産業費		02林業費	02森林整備費	02松くい虫防除事業
細 事 業 名	01 松くい虫防除事業				決算書 P.114
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額
10,380千円		10,381千円	1千円	99.9 %	11,503千円
目的	海岸松林を松くい虫被害から守り、海岸沿い防風林等の機能確保及び風致景観等の保全を図る。				
主要な事務・事業の概要	海岸沿いの防風林（網野町、丹後町、久美浜町）の機能確保及び風致景観等の保全を図るため、無人ヘリコプターによる薬剤散布、樹幹注入、当年枯れの松の焼却駆除を行った。また、海岸松林の被害状況及び樹幹注入保全対象松を把握するため毎木調査を実施した。				
	・ 消耗品費（樹幹注入表示板：600枚）				18千円
	・ 松くい虫被害木毎木調査委託料				157千円
	委託先		事業実施箇所	本数	
	丹後地区森林組合		網野町浜詰地内他	207本	
	・ 樹幹注入毎木調査委託料				75千円
	委託先		事業実施箇所	本数	
	丹後地区森林組合		網野町掛津地内他	403本	
	・ 松くい虫防除事業委託料（奨励・春期：無人ヘリ）				1,598千円
	委託先		事業実施箇所	面積	
丹後地区森林組合		網野町掛津地内他	14.0ha		
・ 松くい虫防除事業委託料（松林健全化促進事業・秋期：樹幹注入）				7,981千円	
委託先		事業実施箇所	本数	薬剤本数	
丹後地区森林組合		網野町掛津地内他	403本	2,660本	
・ 松くい虫防除事業委託料（奨励・秋期：特別伐倒駆除）				551千円	
委託先		事業実施箇所	本数	材積	
丹後地区森林組合		網野町浜詰地内他	207本	15.8㎡	
※府補助率：（奨励・松林健全化促進事業：3/4以内）					
主な財源	府補	松くい虫駆除防除事業補助金			7,389千円
成果・課題	予防作業として無人ヘリコプターによる薬剤散布や樹幹注入を行うなど、松くい虫被害の蔓延防止ができた。				
所 管 課		農林水産部／農林整備課			

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	03森林整備事業													
細 事 業 名	01 森林作業道開設事業				決算書	P.114											
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興															
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額												
759千円		760千円	1千円	99.8 %	2,000千円												
目的	作業道開設に対する国・府森林整備事業への上乗せ補助を行い、森林所有者の負担軽減を図り、健全な森林の造成、多面的機能の増進、森林の有効利用を図る。																
主要な事務・事業の概要	森林組合が森林所有者から受託して実施する作業道の開設に対し、補助金を交付した。																
	○森林作業道開設補助金 759千円																
	※補助率：国、京都府の森林整備事業における対象経費の50%以内																
	森林環境保全直接支援事業 (単位：m、千円)																
	<table><tr><td>実施箇所</td><td>路線名</td><td>延長</td><td>幅員</td><td>事業費</td><td>補助金</td></tr><tr><td>久美浜町須田地内</td><td>大坂谷線</td><td>1,180</td><td>3.0</td><td>8,037</td><td>759</td></tr></table>						実施箇所	路線名	延長	幅員	事業費	補助金	久美浜町須田地内	大坂谷線	1,180	3.0	8,037
実施箇所	路線名	延長	幅員	事業費	補助金												
久美浜町須田地内	大坂谷線	1,180	3.0	8,037	759												
実施主体：丹後地区森林組合																	
主な財源																	
成果・課題	森林作業道開設を希望する受益者の負担軽減を図りながら、間伐等の施策が推進できた。																
所 管 課		農林水産部／農林整備課															

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	03森林整備事業										
細 事 業 名	02 間伐施業事業				決算書	P.114								
総 合 計 画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興												
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額									
977千円		977千円	0千円	100.0 %	2,429千円									
目的	間伐等に対する国・府森林整備事業への上乗せ補助を行い、森林所有者の負担軽減を図り、森林整備の促進と豊かな自然環境の保全を図る。													
主要な事務・事業の概要	森林組合が森林所有者から受託して実施する間伐等に対し補助金を交付した。													
	○間伐施業事業補助金				977千円									
	※補助率：国、京都府の森林整備事業における対象経費の20%以内													
	森林環境保全直接支援事業 (単位：ha、千円)													
	<table><tr><td>実施箇所</td><td>面積</td><td>事業費</td><td>補助金</td></tr><tr><td>久美浜町須田地内</td><td>9.5</td><td>4,766</td><td>786</td></tr></table>						実施箇所	面積	事業費	補助金	久美浜町須田地内	9.5	4,766	786
実施箇所	面積	事業費	補助金											
久美浜町須田地内	9.5	4,766	786											
	実施主体：丹後地区森林組合													
	間伐対策事業 (単位：ha、千円)													
	<table><tr><td>実施箇所</td><td>面積</td><td>事業費</td><td>補助金</td></tr><tr><td>久美浜町須田地内</td><td>1.82</td><td>954</td><td>191</td></tr></table>						実施箇所	面積	事業費	補助金	久美浜町須田地内	1.82	954	191
実施箇所	面積	事業費	補助金											
久美浜町須田地内	1.82	954	191											
	実施主体：丹後地区森林組合													
主な財源														
成果・課題	○間伐等の促進により健全な森林の造成、多面的機能の増進に寄与した。 ○木材価格の低迷により、林業の採算性が低下している中、山の手入れをしない森林所有者の負担軽減を図り、間伐等を促進する必要がある。													
所 管 課	農林水産部／農林整備課													

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	03森林整備事業		
細 事 業 名	04 災害に強い森づくり事業（繰越）				決算書	P.114
総 合 計 画	計 画 項 目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実				
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額		
23,183千円	30,100千円	6,917千円	77.0 %	30,100千円		
目 的	平成29年台風18号により荒廃した森林及び溪流において、土砂・流木等の流出による二次災害を防止するため、治山施設等を整備し災害に強い森の整備を図る。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	平成29年台風18号において、溪岸侵食による土砂流出があった荒廃溪流に治山ダムを設置することにより、土砂流出防止を図った。 実施場所：丹後町上山地内 ○消耗品費 687 千円 ○委託料 測量設計委託料 956 千円 ○工事請負費 21,461 千円 治山ダム 1基 ○補償金 立木補償 79 千円					
主 な 財 源	府委 災害に強い森づくり事業実施委託金				23,183千円	
成 果 ・ 課 題	治山施設の機能回復により、下流域の住宅等の安全が確保できた。					
所 管 課	農林水産部／農林整備課					

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	05市行造林事業																	
細 事 業 名	01 市行造林事業				決算書 P.114																
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額																	
1,534千円	1,534千円	0千円	100.0 %	6,657千円																	
目 的	計画的な保育施業を実施し、市行造林地内における植栽木の財産造成と森林機能の確保を図る。																				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	市行造林契約地において、分収契約に基づき、計画的に保育施業を実施した。																				
	○保育施業工事 1,534千円																				
	植林木の生長を促進させるための間伐及び獣害対策として樹皮剥ぎ防止テープの取付け作業を行った。																				
	<table><tr><td>工 種</td><td>施業地</td><td>事業量</td><td>金 額</td></tr><tr><td>保育間伐・枝打ち・樹皮剥ぎ防止テープ</td><td>網野町切畑</td><td>1.47ha</td><td>724千円</td></tr><tr><td>保育間伐・枝打ち</td><td>網野町溝野</td><td>2.14ha</td><td>810千円</td></tr><tr><td>合 計</td><td></td><td>3.61ha</td><td>1,534千円</td></tr></table>					工 種	施業地	事業量	金 額	保育間伐・枝打ち・樹皮剥ぎ防止テープ	網野町切畑	1.47ha	724千円	保育間伐・枝打ち	網野町溝野	2.14ha	810千円	合 計		3.61ha	1,534千円
	工 種	施業地	事業量	金 額																	
保育間伐・枝打ち・樹皮剥ぎ防止テープ	網野町切畑	1.47ha	724千円																		
保育間伐・枝打ち	網野町溝野	2.14ha	810千円																		
合 計		3.61ha	1,534千円																		
委託先：丹後地区森林組合																					
主 な 財 源	府補 森林整備補助金				1,278千円																
成 果 ・ 課 題	造林地の保育施業を計画的に行うことにより、植林木の生長を促進し、財産価値を確保するとともに、地球温暖化防止など、森林の多面的機能の確保に寄与した。																				
所 管 課		農林水産部／農林整備課																			

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	06林道整備事業													
細 事 業 名	01 小規模林道整備事業				決算書	P.114											
綜 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興															
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額											
782千円		782千円		0千円	100.0 %	900千円											
目 的	地元営小規模林道整備事業に係る機械借上費、原材料費について支援を行い、林道の適正な維持管理・保全を図る。																
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	各地区が実施する林道の小規模な整備事業（維持管理及び保全）に係る機械借上費や原材料費に対して補助金を交付した。																
	○小規模林道整備事業支援補助金					782千円											
	補助率：補助対象事業費の10/10																
	上限：原材料又は機械経費のみの場合200千円 原材料及び機械経費を含む場合300千円																
	<table><tr><td>区分</td><td>箇所数</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>弥栄町</td><td>1</td><td>150千円</td></tr><tr><td>久美浜町</td><td>5</td><td>632千円</td></tr><tr><td>合計</td><td>6</td><td>782千円</td></tr></table>						区分	箇所数	補助金額	弥栄町	1	150千円	久美浜町	5	632千円	合計	6
区分	箇所数	補助金額															
弥栄町	1	150千円															
久美浜町	5	632千円															
合計	6	782千円															
主 な 財 源																	
成 果 ・ 課 題	地元が行う林道等の整備に対して、資材等を支援することで、早期に原状回復が図られ林道の適正な維持管理と保全ができた。																
所 管 課		農林水産部／農林整備課															

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	06林道整備事業		
細 事 業 名	02 林道等整備事業				決算書	P.114
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額		
8,526千円	8,531千円	5千円	99.9 %	9,958千円		
目 的	森林機能の確保と森林資源の活用保全に資する森林内作業を容易にするため、林道の適切な維持管理を行う。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	森林の活用と保全のために必要な林道等の適正な維持管理（草刈、修繕）及び損傷箇所の改良工事を実施した。 ○消耗品費（製図支援ソフトバージョンアップソフト）32千円 ○修繕料589千円 林道（大鼓山線）修繕 ○委託料6,564千円 丹後縦貫林道維持管理業務5,720千円 （大鼓山線、奥寄線） 公共土木積算システム保守管理844千円 ○負担金1,341千円 丹後縦貫林道維持管理負担金（大内線、成相線）					
主 な 財 源						
成 果 ・ 課 題	森林整備を行うために必要な林道の適正な維持管理を行い、民有林等の森林整備の実施に寄与するとともに、通行車両等の安全を確保することができた。					
所 管 課	農林水産部／農林整備課					

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	07小規模治山事業	
細 事 業 名	01 小規模治山事業				決算書 P.114
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
2,182千円		2,189千円	7千円	99.6 %	0千円
目 的	平成30年7月豪雨により被災した林地を保全し、安全対策を図る、また、災害の原因となる危険木の除去の予防措置に対して助成を行う。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○工事請負費 崩土撤去、植生工、柵工 1,993千円 ・実施場所：丹後町間人（小泊） ○補助金 要適正管理森林等災害予防事業補助金（危険木の除去） 189千円 ・実施場所：峰山町新治				
主 な 財 源	府補 要適正管理森林等災害予防事業費補助金				189千円
成 果 ・ 課 題	人家に危険を及ぼす恐れのある危険木を除去することができた。				
所 管 課		農林水産部／農林整備課			

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	08豊かな森を育てる事業	
細 事 業 名	01 豊かな森を育てる事業			決算書 P.114	
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
1,184千円	1,186千円	2千円	99.8 %	10,214千円	
目 的	「京都府豊かな森を育てる府民税」を財源とした交付金を活用し、森林の公益的機能の維持増進を図るとともに、府内産材の積極的な利用を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○木製ベンチの設置			216千円	
	公共施設での木製品利用				
	設置数	事業費	設置施設		
	8台	216千円	宇川温泉（2）・あしぎぬ温泉（2）		
			浅茂川温泉（2）・はしうど荘（2）		
	○木育PR活動			87千円	
	イベント（丹後王国食のみやこ）に木育広場を出展し、木育をPR				
	○大人の木工教室			133千円	
	木工教室を開催（参加者：12人）				
	○豊かな森を育てる事業補助金			748千円	
・間伐材搬出補助（補助率3/5、上限3千円/t）					
交付件数	搬出量	事業費	補助金額		
1件	84 t	800千円	249千円		
・教育・研修活動補助（補助率10/10、上限50千円）					
交付件数	事業費	補助金額			
11件	610千円	499千円			
主 な 財 源	府補	豊かな森を育てる府民税市町村交付金（10/10）			733千円
	繰入金	豊かな森を育てる基金繰入金			415千円
	諸収入	木工教室参加料			36千円
成 果 ・ 課 題	○府内産の木材を使い、市内の公共施設へ木製ベンチを設置し、木への親しみを深めてもらう機会を提供できた。 ○保育所等保護者会の木製品等導入への支援により、園児等に木や森への親しみを深めてもらう機会を増やすことができた。				
所 管 課		農林水産部／農林整備課			

予 算 科 目		06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	08豊かな森を育てる事業
細 事 業 名		02 豊かな森を育てる基金			決算書 P.114
総 合 計 画		計画項目 2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考) 当初予算額
9,713千円		9,713千円		0千円	100.0 % 1千円
目的 豊かな森を育てる府民税市町村交付金の残余金を翌年度に活用することを目的とした豊かな森を育てる基金への積立金					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○豊かな森を育てる基金積立金 9,713千円				
	府民税市町村交付金① (府支出金)		事業財源充当額②		差引額 (①-②) (基金積立金)
	10,446,000 円		733,385 円		9,712,615 円
	(参考) 基金の状況 (単位：千円)				
	平成29年度末 現 在 高 ①	平成30年度中増減額			平成30年度末 現 在 高 ①-②+(③+④)
	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④		
415	415	0	9,713	9,713	
主 な 財 源	府補 豊かな森を育てる府民税市町村交付金 (10/10)				9,713千円
成 果 ・ 課 題					
所 管 課		農林水産部／農林整備課			

予 算 科 目		06農林水産業費	03水産業費	01水産業総務費	50水産業総務一般経費
細 事 業 名		01 水産業総務一般経費			決算書 P.116
総 合 計 画		計画項目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興		
決 算 額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
3,416千円		4,325千円	909千円	78.9 %	2,024千円
目的	施設等の適切な維持管理と、水産関係団体への活動支援により、水産業務の円滑な推進及び水産振興を図る。				
主要な 事務・事業の概要	水産業務を円滑に推進するために必要な施設・公用車等の維持管理経費及び水産関係団体への負担金・補助金を支出した。				
	○旅費				22千円
	・会議等職員旅費				
	○需用費				942千円
	・事務消耗品費、公用車燃料代、車検・修繕料				603千円
	・久美浜栽培漁業センター光熱水費				339千円
	○役務費				145千円
	・ごみ処理手数料				10千円
	・公用車車検代行手数料、自賠責保険料、建物等共済分担金				135千円
	○委託料				1,654千円
	・浅茂川漁港沈船撤去運搬				555千円
	・海岸漂着物回収処理委託料				1,099千円
	○負担金、補助及び交付金				638千円
	・京都府海の民学舎負担金				495千円
	・京都府漁港漁場協会負担金、京都府漁業士会補助金				143千円
○公課費				15千円	
・公用車重量税					
		参考	繰越明許費を除いた最終予算額		3,558千円
			実質的な執行率		96.00%
■令和元年度への繰越事業					
・沈船解体処分等作業委託料				令和元年10月完了予定	767千円
主な 財源	諸収入 市有自動車損害共済金				53千円
成果・課題	「海の民学舎」の運営をはじめ、水産関係団体の活動を支援することで、新規漁業就業者や中核的担い手の育成事業、要望・研修活動等が活発に展開され、漁業振興に寄与することができた。				
所 管 課		農林水産部／海業水産課			

予 算 科 目	06農林水産業費	03水産業費	02水産業振興費	01内水面漁業振興支援事業	
細 事 業 名	01 内水面漁業振興支援事業			決算書 P.116	
総合計画	計画項目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興			
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
1,210千円	1,210千円	0千円	100.0 %	1,149千円	
目的	内水面漁業協同組合が実施する種苗放流事業を継続的に支援し、河川等の水産資源の増殖・確保により、内水面漁業の振興を図る。				
主要な事務・事業の概要	野間川、宇川及び離湖における自然環境の保全と水産資源の増殖・確保を目的とした種苗放流事業に要する種苗購入費に対して、補助金を交付した。				
	○河川種苗放流事業補助金（補助対象事業費の2/3以内の額）			1,210千円	
	実施団体	野間漁業協同組合	上宇川漁業協同組合	京都府漁業協同組合 網野支所	
	放流場所	野間川	宇 川	離 湖	
	補助対象事業費	1,494千円	506千円	60千円	
	補助金	872千円	298千円	40千円	
	放流魚種	アユ	23,300尾	15,000尾	—
		ウナギ	—	—	—
		マス類	5,000尾	—	—
		フナ	—	—	2,000尾
組合員数	59人	39人	内水面のみ 45人		
主な財源	府補 内水面漁業振興対策事業費補助金（1/3以内）			564千円	
成果・課題	○種苗放流事業の継続的支援により、自然環境の保全と河川資源の維持・増殖が図られ、水辺のレジャーの振興及び漁業活動の安定に寄与できた。 ○漁業協同組合員の減少と高齢化が進行しており、魚道を含む河川の漁場管理が困難になってきているため、組合員と地域住民等が連携して漁場の環境保全や資源増殖に取り組む体制づくりが必要である。				
所 管 課	農林水産部／海業水産課				

予 算 科 目	06農林水産業費	03水産業費	02水産業振興費	02漁業振興支援事業		
細 事 業 名	01 漁業振興支援事業				決算書 P.116	
総合計画	計画項目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興				
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
1,166千円	1,229千円	63千円	94.8 %	2,492千円		
目的	水産資源の増殖・確保のための種苗放流及びヒラメの中間育成を支援し、漁業者の経営安定と所得向上を図る。					
主要な事務・事業の概要	府漁協が実施するアワビ・サザエ等の種苗放流事業及びヒラメの中間育成事業に対して補助金を交付した。					
	○種苗放流事業補助金（補助対象事業費の1/2以内の額）				1,006千円	
	実施団体	府漁協丹後支所	府漁協網野支所	府漁協湊支所		
	放流場所	日本海	日本海	日本海・久美浜湾		
	補助対象事業費	614千円	738千円	807千円		
	補助金	285千円	318千円	403千円		
	放 流 魚 貝 種	アワビ	10,400個	9,400個	—	
		サザエ	9,400個	16,800個	32,600個	
		クロダイ	—	—	10,000尾	
	○中間育成事業補助金（補助対象事業費の2/3以内の額）				140千円	
実施団体	府漁協湊支所					
実施場所	久美浜栽培漁業センター					
放流場所	久美浜湾					
補助対象事業費	217千円					
補助金	140千円					
対象魚種	ヒラメ 9,500尾					
○「おいしい京都のさかなあります」実行委員会負担金				20千円		
主な財源						
成果・課題	種苗放流事業及び中間育成（ヒラメ）事業を継続的に実施することで、安定した漁業生産活動の確保に寄与できた。					
所 管 課	農林水産部／海業水産課					

予算科目	06農林水産業費	03水産業費	02水産業振興費	03海業推進事業
細事業名	01 海業推進事業			決算書 P.116
総合計画	計画項目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
463千円	467千円	4千円	99.1 %	889千円
目的	「海業推進事業計画」に基づき、海業の取組を推進し、地元水産物の消費拡大や販売促進、漁村地域の活性化を図る。			
主要な事務・事業の概要	○旅費 10千円			
	・会議等職員旅費（丹後水産物ブランド推進会議ほか）			
	○需用費（小学生お魚料理教室開催経費） 149千円			
	・食材等消耗品ほか			
	開催期間 平成30年5月～7月			
	参加校数 14校（実施回数：12回）			
	参加児童数 小学5年生293人			
	○使用料及び賃借料 4千円			
	・高速道路使用料			
	○負担金、補助及び交付金 300千円			
・ふるさと海づくり大会負担金（実施団体：同実行委員会） 100千円				
平成30年9月8日（土）、伊根町「伊根漁港」周辺で開催				
来場者数：約2,000人				
・海業振興事業補助金（採捕漁業体験事業：1団体1件） 200千円				
団体名		事業内容	補助対象事業費	補助金額
蒲井・旭活性化協議会		地域資源の保全・活用を通じて水産業及び漁村の理解を深めることを目的に、旭漁港区域内の漁業権設定区域の一部を開放（消耗品、備品購入、広告宣伝活動、印刷製本ほか）	301千円	200千円
※補助率：補助対象経費の2/3以内の額（上限200千円）				
主な財源	府補 食料産業・6次産業化交付金（1/2以内）			29千円
成果・課題	○「お魚料理教室」の開催により、子どもの地元水産物に対する関心を高め、魚食普及を図ることができた。 ○海業に関する漁業者や漁村地域の活動を支援することにより、漁村振興や地域産業の活性化に寄与できた。 ○漁業所得の向上、担い手の確保・育成につながる取組とするため、商業や観光、教育分野等との連携を深め、6次産業化に向けた仕組みづくりと推進体制整備が必要である。			
所管課	農林水産部／海業水産課			

予算科目	06農林水産業費	03水産業費	02水産業振興費	06利子補給助成事業
細事業名	01 利子補給助成事業			決算書 P.116
総合計画	計画項目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
406千円	437千円	31千円	92.9 %	892千円
目的	漁業者等が借り入れた漁業近代化資金等に対する支払利子の一部を助成することにより、漁業等を営む者の資金調達を円滑化し、経営の安定化と成長の促進を図る。			
主要な事務・事業の概要	○漁業近代化資金利子補給金 86千円 ・漁業近代化一般融資分 法人 1件、生産組合 1件、個人 5件 ○漁業災害復旧資金利子補給金 320千円 ・漁業災害復旧資金融資分 法人 1件、生産組合 2件、個人 1件			
主な財源				
成果・課題	漁業者等が借り入れた漁業近代化資金及び漁業災害復旧資金に対して利子補給を行うことで、漁業者の投資負担の軽減による設備の高度化及び災害からの復旧が促進された。			
所 管 課	農林水産部／海業水産課			

予 算 科 目	06農林水産業費	03水産業費	02水産業振興費	07水産業再生緊急支援対策事業
細 事 業 名	01 水産業再生緊急支援対策事業（繰越）			決算書 P.116
総 合 計 画	計 画 項 目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
3,648千円	19,264千円	15,616千円	18.9 %	19,264千円
目 的	平成29年台風21号により被災した定置網等漁具の復旧を支援することで、安心・安全で効率的な漁業活動を確保する。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	台風により多くの定置網等の漁具が破損し、漁業者活動の支障となったことから、復旧のための費用の一部を補助した。 ○定置網等漁具災害復旧事業補助金 3,648千円 ・生産組合 2件、個人 1件			
主 な 財 源				
成 果 ・ 課 題	漁業活動に必要な漁具の復旧により、漁業者が安心・安全な漁業活動を営むことができた。			
所 管 課	農林水産部／海業水産課			

予 算 科 目	06農林水産業費	03水産業費	03漁港管理費	01漁港維持管理事業
細 事 業 名	01 漁港維持管理事業			決算書 P.116
総 合 計 画	計 画 項 目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
4,583千円	4,611千円	28千円	99.3 %	5,740千円
目 的	漁港施設の維持補修及び施設用地の管理を行い、漁業者の安心・安全な漁業活動を確保する。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	漁船の安全な航行に必要な標識灯の修繕や、漁業活動に支障が生じている漁港施設の維持修繕を実施した。また、浅茂川漁港環境施設用地の維持管理と間人漁港の指向灯の点検業務を実施した。 ○需用費（修繕料） 1,221千円 ・浅茂川漁港中第2防波堤標識灯修繕 257千円 ・浅茂川漁港西第2防波堤標識灯修繕 216千円 ・小間漁港転落防止柵撤去 41千円 ・浜詰漁港（夕日泊地）第一防波堤標識灯修繕 59千円 ・浜詰漁港（夕日泊地）第一、第三防波堤標識灯修繕 248千円 ・間人漁港中防波堤標識灯修繕 400千円 ○委託料 338千円 ・漁港区域管理（浅茂川漁港区域内草刈等業務） 122千円 ・間人漁港指向灯保守点検業務 216千円 ○工事請負費 3,024千円 ・蒲井漁港標識灯更新工事			
主 な 財 源				
成 果 ・ 課 題	○漁港施設の維持修繕の実施により、漁業者の安心・安全な漁業活動が維持できた。 ○漁港内の安全性の確保及び漁業活動を維持するため、必要性・緊急性を考慮しながら維持管理を実施する必要がある。			
所 管 課	農林水産部／海業水産課			

予 算 科 目	06農林水産業費	03水産業費	03漁港管理費	02漁港整備事業		
細 事 業 名	01 漁港整備事業				決算書	P.116
総 合 計 画	計 画 項 目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②		不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額
3,725千円		3,726千円		1千円	99.9 %	6,700千円
目 的	漁港施設をより効果的に利用するための整備を行い、安心・安全で効率的な漁業活動を確保する。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	漁業活動の効率を上げるとともに漁業者の安心・安全な作業環境の整備を図るため、消波ブロックの移設や泊地内の浚渫工事を実施した。					
	○工事請負費					3,725千円
	・浅茂川漁港泊地浚渫等工事					2,437千円
	消波ブロック移設 45個					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	・竹野漁港泊地浚渫工事					1,288千円
	浚渫工 310㎡					
主 な 財 源	分担金	漁港整備事業分担金				186千円
	市債	漁港施設整備事業債（過疎対策債）				2,300千円
成 果 ・ 課 題	○漁業活動に必要なとなる漁港施設の整備により、漁業者が安心・安全で効率的な漁業活動を営むことができた。					
	○漁港の利用状況により補助対象外となる施設について、維持管理・老朽対策が課題となっている。					
所 管 課		農林水産部／海業水産課				

予 算 科 目	06農林水産業費	03水産業費	03漁港管理費	02漁港整備事業		
細 事 業 名	01 漁港整備事業（繰越）				決算書	P.116
総 合 計 画	計 画 項 目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額	
10,327千円		10,475千円	148千円	98.5 %	10,475千円	
目 的	漁港施設をより効果的に利用するための整備を行い、安心・安全で効率的な漁業活動を確保する。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	漁業活動の効率を上げるとともに漁業者の安心・安全な作業環境の整備を図るため、橋梁の改良や防波堤の改修工事を実施した。 ○工事請負費 10,327千円 ・三津漁港蛭橋改良工事 9,533千円 仮橋設置 一式 BOXカルバート 12m ・間人漁港黒岩防波堤改修工事 794千円 擁壁工 7.5m 舗装工 15㎡					
主 な 財 源	分担金 漁港整備事業分担金 516千円 市債 漁港施設整備事業債（過疎対策債） 9,700千円					
成 果 ・ 課 題	○漁業活動に必要なとなる漁港施設の整備により、漁業者が安心・安全で効率的な漁業活動を営むことができた。 ○漁港の利用状況により補助対象外となる施設について、維持管理・老朽対策が課題となっている。					
所 管 課		農林水産部／海業水産課				

予 算 科 目	06農林水産業費	03水産業費	03漁港管理費	03水産基盤ストックマシ ント事業	
細 事 業 名	01 水産基盤ストックマシ ント事業				決算書 P.116
総 合 計 画	計 画 項 目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
20,217千円		20,217千円	0千円	100.0 %	20,000千円
目 的	漁港施設の調査・機能診断を踏まえた機能保全計画を策定し、同計画に基づいた保全工事を実施することで、施設の長寿命化と維持更新コストの縮減を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	平成27年度に策定した機能保全計画に基づき、浅茂川漁港泊地浚渫等工事を実施した。				
	○工事請負費 20,217千円 ・浅茂川漁港泊地浚渫等工事 浚渫工 1,830㎡ 消波ブロック移設工（水中28個、気中9個）				
主 な 財 源	分担金 府補	水産基盤ストックマシ ント事業分担金 水産基盤ストックマシ ント事業補助金（2/3）			344千円 13,333千円
成 果 ・ 課 題	○機能保全計画に基づく工事の計画的な実施により、漁港施設の長寿命化を図った。 ○漁港施設の長寿命化と維持更新コストの縮減を図るため、引き続き、計画未策定の漁港について機能保全計画を策定していく。				
所 管 課		農林水産部／海業水産課			

予 算 科 目	06農林水産業費	03水産業費	03漁港管理費	03水産基盤ストックマシ ント事業	
細 事 業 名	01 水産基盤ストックマシ ント事業（繰越）				決算書 P.116
総 合 計 画	計 画 項 目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興			
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
1,860千円		1,860千円	0千円	100.0 %	1,860千円
目 的	漁港施設の調査・機能診断を踏まえた機能保全計画を策定し、同計画に基づいた保全工事を実施することで、施設の長寿命化と維持更新コストの縮減を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	平成27年度に策定した機能保全計画に基づき、浅茂川漁港泊地浚渫等工事を実施した。 ○工事請負費 1,860千円 ・ 浅茂川漁港泊地浚渫等工事 浚渫工 170㎡				
主 な 財 源	分担金 府補	水産基盤ストックマシ ント事業分担金 水産基盤ストックマシ ント事業補助金（2/3）			31千円 1,239千円
成 果 ・ 課 題	○機能保全計画に基づく工事の計画的な実施により、漁港施設の長寿命化を図った。 ○漁港施設の長寿命化と維持更新コストの縮減を図るため、引き続き、計画未策定の漁港について機能保全計画を策定していく。				
所 管 課		農林水産部／海業水産課			

予 算 科 目	06農林水産業費	03水産業費	03漁港管理費	04農山漁村地域整備交付金事業
細 事 業 名	01 農山漁村地域整備交付金事業			決算書 P.116
総 合 計 画	計 画 項 目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興		
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率 (参考)当初予算額
15,120千円		15,120千円	0千円	100.0 % 16,000千円
目的	海岸法及び同法施行規則に基づき、対象となる漁港海岸保全施設の機能診断を行い機能保全計画を策定することで、各施設の長寿命化と維持更新コストの縮減を図る。			
主要な事務・事業の概要	対象となる浅茂川漁港、袖志漁港、竹野漁港、小間漁港の漁港海岸保全施設機能保全計画を策定した。			
	○委託料 15,120千円 ・ 漁港海岸保全施設機能保全計画策定業務 漁港海岸保全施設4か所（浅茂川、袖志、竹野、小間） 施設延長L=771m （浅茂川90m、袖志286m、竹野275m、小間120m）			
主な財源	国補	農山漁村地域整備交付金（1/2）		7,500千円
	府補	農山漁村地域整備交付金（1/6）		2,500千円
成果・課題	○漁港海岸保全施設の現状を把握し最適な対策工の検討を行い、各施設の長寿命化と維持更新コストの縮減を図る計画を策定することができた。 ○機能保全計画に基づき、計画的に対策工を実施していく必要がある。			
所 管 課		農林水産部／海業水産課		

予 算 科 目	07商工費	01商工費	01商工総務費	02消費生活推進事業		
細 事 業 名	01 消費生活推進事業				決算書	P.118
総 合 計 画	計画項目	11 防犯・交通安全対策の推進				
決 算 額 ①		最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
5,841千円		5,961千円	120千円	97.9 %	5,961千円	
目 的	消費生活センターで、相談対応及び情報提供等を行うとともに消費生活学習グループの活動に対する支援を行うことにより、市民の消費生活の安定、向上を図る。					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○消費生活相談事業 5,581千円 消費生活センターに専門相談員を配置し、市民からの相談に対応するとともに、消費生活に関する情報の収集・提供を行った。 【開設場所】 寄り添い支援総合サポートセンター内 【相談時間】 午前9時～午後5時 【相談受付件数】 297件（販売購入：259件、事故：1件、その他：37件） 【出前講座実施回数】 32回 【消費生活セミナー開催】 第1回（6月）知って納得洗濯術・啓発漫才・消費生活寸劇（参加者51人） 第2回（12月）環境への取組み・お金のまもり方・消費生活寸劇（参加者62人） ・相談員報酬等（2人） 4,560千円 ・研修旅費等 507千円 ・消費生活セミナー等開催費用 109千円 ・啓発グッズ・チラシ作成費、参考図書・事務用品等購入費 57千円 ・電話、FAX料金等 126千円 ・公用車維持管理費（1台） 222千円 ○消費生活学習グループ活動費補助金 260千円 【会員数（平成31年3月31日現在）】 110人 峰山 26人 大宮 19人 網野 10人 丹後 17人 弥栄 19人 久美浜 19人 【活動内容】 ・イベント、老人会・街頭等での啓発活動（寸劇実施回数7回） ・消費生活学習会等の実施					
主 な 財 源	府補 消費者行政活性化事業費補助金（10/10、1/2）					3,156千円
成 果 ・ 課 題	○専門相談員が、市民からの消費生活相談に迅速かつ適切に対応することにより、消費者被害の防止と早期解決に寄与できた。 ○市民への情報提供や啓発物品の配布、消費生活学習グループの啓発活動等を通して、消費者被害を未然に防ぐとともに、消費トラブルに対する知識と意識を高めることができた。 ○教育部局や学校と連携して、子どもや若者への消費者教育を進めていく必要がある。					
所 管 課		健康長寿福祉部／生活福祉課				